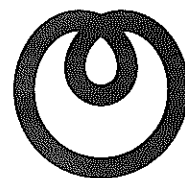


NTT

NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE
CORPORATION



ISDN

ビジュアルホン *PICSEND-R* 取扱説明書

このたびは、PICSEND-Rをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用になる前に、この「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しい使い方でご愛用ください。
- お読みになった後も、本装置のそばなどいつも手元に置いてご使用ください。



● はじめに ●

このたびは、P I C S E N D - Rをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本装置を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。ご使用になる前に、この「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しい使い方でご愛用ください。

お読みになった後も、本装置のそばなどいつも手元に置いてご使用ください。

安全に関する表示と図記号の意味は次のようになっていますので、内容をよく理解してから本文をお読みください。

安全にお使いいただくために必ずお守りください



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



お願い

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本装置の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。



ワンポイント

この表示は、本装置を取り扱う上で知っておくと便利な内容を示しています。

- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、NTT窓口等へお申しつけください。また、本書を紛失・汚損等の場合は、NTT窓口等へ注文してください。
- 本装置の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通話・録画などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本装置の設置および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となりまた事故のもととなりますので、絶対におやめください。
- 本装置の「操作早見表」をお使いになるときは、必ず、本装置の取扱説明書をよく読みご理解の上でお使いください。

正しく安全に お使いいただくために

安全上の警告情報

警告：異常時の対処のしかた

■ 発煙、異臭、異音の場合の対処



万一、煙がでる、へんな臭いやへんな音がするなどの異常状態の場合、そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源コードのプラグをコンセントから抜き、113番へご連絡ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

■ 水が装置内部に入った場合の対処



万一、水などの液体が内部に入った場合、そのまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに電源コードのプラグをコンセントから抜き、113番へご連絡ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

■ 装置が破損、電源コードが傷んだりした場合の対処



万一、本装置を破損したり、電源コードが傷んだりした場合、そのまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに電源コードのプラグをコンセントから抜き、113番へご連絡ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

■ 異物が装置内部に入った場合の対処



万一、本装置のすきまなどから、内部に金属類や燃えやすいものなどの異物が入った場合、そのまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに電源コードのプラグをコンセントから抜き、113番へご連絡ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

■ 原因不明のまま、画面が映らない場合の対処



故障状態で使用しないでください。すぐに電源コードのプラグをコンセントから抜き、113番へご連絡ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

安全上の警告情報

警告：取り扱いについて

■ 異物を中に入れないようにしてください



本装置のすきまや通風孔などから、金属物や紙類など、異物を入れないでください。火災・感電の原因となります。万一、異物が入った場合は、すぐに電源コードのプラグをコンセントから抜き、113番へご連絡ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。（特にお子様のいるご家庭では、ご注意ください。）

■ 装置のカバーは外さないでください



装置のカバーは開けないでください。感電や故障の原因となります。内部の点検、調整、清掃、修理は、113番へご連絡ください。

■ 装置の分解、改造はしないでください



お客様による分解、改造は、感電の原因となります。

■ 本装置の通風孔をふさがないでください



通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災、故障の原因となる恐れがあります。

■ 本装置の上に乗らないでください



倒れたり壊れたりして、けがの原因となることがあります。（特にお子様のいるご家庭では、ご注意ください。）

警告：設置・据付について

■ 不安定なところに置かないでください



ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定なところに置かないでください。もし、落としたり倒れたりすると、けがの原因となります。

■ 風通しの悪いところに置かないでください



本装置に覆いをかけると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。風通しの悪い狭いところに押し込む、逆さま、じゅうたんの上に置く、布をかけるなどで放熱を妨害しないでください。

安全上の警告情報

注意：設置・据付について

■ 水や薬品類がかからないようにしてください



本装置の上やすぐ近くに、花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器を置かないでください。また、雨や雪などが掛かるようなところには置かないでください。水や液体が装置の中に入ると、故障や火災・感電の原因となります。

■ 温度・湿度の高いところには置かないでください



直射日光が当たるところや熱器具のそばなど温度の高いところ、風呂場や加湿器のそばなどには置かないでください。内部の温度・湿度があがり、火災や故障の原因となる場合があります。

■ 温度が低いところには置かないでください



冷凍倉庫や外気にさらされるなど温度変化の激しいところには置かないでください。結露などにより火災や故障の原因となることがあります。

■ ほこりの多いところには置かないでください



ほこりの多いところに置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■ 本装置の上に重いものを置かないでください



バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となります。

安全上の警告情報

警告：電源関係の取り扱いについて

■ AC100V 50/60Hz以外は接続しないでください

AC100Vの家庭用電源以外は、絶対に使用しないでください。冷暖房機や大型電気製品の高い電圧に接続すると火災・感電の原因となります。



■ プラグを抜くときは必ずプラグを持ってください

電源コードのプラグを抜くときは、コードを引っ張ったりしないで、必ずプラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードを傷め、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら販売店に交換を依頼してください。



■ 濡れた手でプラグを抜き差ししないでください

濡れた手でプラグの抜き差しは感電の原因となります。



■ 電源コードは傷つけないでください

電源コードを傷つけないように注意してください。電源コードを無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、加工したり、束ねたりしないでください。また、本装置の下や、イス、テーブルの脚や物にはさんだりしないようにしてください。これらは、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら販売店に交換を依頼してください。



■ たこ足配線はしないでください

分岐ソケットや分岐コンセントによるたこ足配線はしないでください。火災・感電の原因となります。



■ ACアダプタは添付のものを使用してください

それ以外のものは、使用しないでください。火災の原因となります。



■ 雷が発生したときはプラグを抜いてください

近くに雷が発生したら、電源コードのプラグを抜いて、装置のご使用をお控えください。雷によっては、火災・感電の原因となることがあります。



安全上の警告情報

注意：電源関係の取り扱いについて

- 長期間ご使用にならないときはプラグを抜いてください



長期間ご使用にならないとき（年末年始休暇や長期休暇など）は、安全のため電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。

- お手入れや移動の際はプラグを抜いてください



お手入れや移動の際は、安全のため電源プラグや接続されているコード類を抜いてください。

安全上の警告情報

STOP お願い:

■ I N S ネット 6 4 にご加入ください

本装置は、I N S ネット 6 4 の基本インターフェース (2 B + D) 「P - m P 接続」に接続してお使いいただくビジュアルホンです。

また、多地点テレビ会議機能をお使いになる場合は、「呼毎通知許可」のサービスをご契約願います。

■ 構内交換機 (P B X) に接続する前に

構内交換機 (P B X) の種類によっては、接続できないことや機能が正常に働かないことがあります。N T T 窓口等にご相談ください。

お使いの構内交換機 (P B X) の取扱説明書をお読みになり動作の確認をすることをおすすめします。

構内交換機内線電話機としてご使用の場合、外線へ電話をかけるには、外線アクセス番号 (通常の交換機は 0 ボタン) を押してから相手番号をダイヤルする必要があります。

■ ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

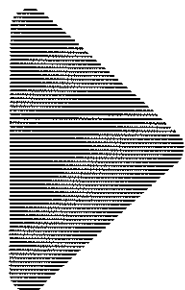
本装置は、第一種情報装置 (商工業地域において使用されるべき情報装置) で商工業地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (V C C I) 基準に適合しております。従って、住宅地域またはその隣接した地域で使用すると、ラジオ、テレビジョン受信機等に受信障害を与えることがあります。

■ 電話帳などの登録内容について

長期間電源コードのプラグをコンセントから抜いていたときは、電話帳などの登録内容が消えることがあります。もう一度登録してください。

■ その他

本装置は T T C 標準に準拠しており、同標準に準拠した基本通信機能について他社製品との相互接続性が確認されております。(なお、オプションな機能あるいは本製品の独自の機能については、必ずしも他社製品との相互接続性は確認されていません。)



この取扱説明書の読み方

※P I C S E N D - R を楽しく有効に使っていただくために、この取扱説明書をご活用ください。
この取扱説明書は、下記のような構成になっています。

タイトル		内 容
はじめに		最初にお読みください。
正しく安全にお使いいただくために		あなたや他の人々への危害や損害を未然に防ぎ、本装置を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しています。
P I C S E N D - R の特長		P I C S E N D - R の代表的な機能を紹介しています。 このページからも、使い方のページを探せます。
セットを確認してください		まず、最初にお読みください。
モニタの見方		モニタに表示されるメッセージと、ファンクションボタンとの対応のしかたについて説明しています。
各部のなまえとはたらき		P I C S E N D - R の各ボタンの名前と働きを説明しています。
第1章 お使いになる前に		P I C S E N D - R を使い始めるための準備を説明しています。
第2章 TV電話をかける・受ける		基本的な電話のかけかた、受けかたを説明しています。
第3章 より便利にお使いいただくために		P I C S E N D - R の個性ある機能を説明しています。
第4章 多地点テレビ会議を行う		多地点テレビ会議特有の準備や操作方法を説明しています。
第5章	外部機器の接続と条件	外部機器の接続、スイッチなどの設定のしかた、および接続機器の仕様条件について説明しています。
	トラブル対策	P I C S E N D - R の調子が悪いとき、そのトラブルを解決するためのヒントを載せています。
	お手入れのしかた	お手入れのしかたとそのときの注意について説明しています。
	索引	機能名から使い方のページを探せます。
	保証・アフターサービス	保証期間とアフターサービスについて説明しています。
	仕様	仕様の詳細について説明しています。

ボタンの記号について

例1.

機能

ファンクションボタンを示します。
ただし、操作の説明文では「機能」と示しています。

例2.

鏡/正

ファンクションボタンを示します。
この例の操作説明文では、「鏡/正」(D)と示しています。
を押すと、「鏡/正」が
選択され自分の画像が左右反対になります。

ページ構成の例

機能名。もくじからは機能名で探せます

自分の画像を左右反対に見るとき

鏡/正

操作の説明

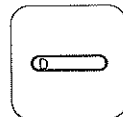
1

TV電話通信中に「機能」を押します。



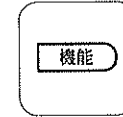
2

鏡/正 (D) を押します。



3

機能 を押します。

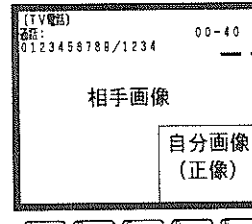
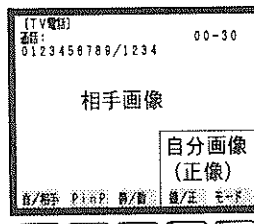
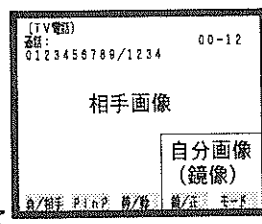


機能名称が消えます。

本体のボタンを示します

操作後の
モニタ表示

画面表示と本体の
ボタンを示します



操作に関連する
補足説明

「鏡像」と「正像」について

- 鏡に映った自分の映像：「鏡像」と、写真に撮った自分の映像：「正像」は、左右が反列になります。
- 相手が見る自分は「正像」が自然なので、相手動画は「正像」です。
- 一方、自画像を自分で見る場合は、「鏡像」のほうが見えており、自然な感じに見えるので、本装置についているカメラで映した自画像は「鏡像」にしています。
- この機能は、自画像についてのみの機能で、相手に送っている画像は「正像」のまま変わりません。

元の「鏡像」に戻すときは

もう一度「鏡/正」(D)を押します。

その他

自分画像がモニタに表示されていないときでも、「鏡/正」(D)は有効になっています。

もくじ

はじめに	0-1
安全上の警告情報.....	0-2
この取扱説明書の読み方	0-8
P I C S E N D - R の特長	0-12
セットを確認してください	0-14
モニタの見方	0-15
各部のなまえとはたらき…操作面、側面、背面..	0-16

第1章 お使いになる前に

接続のしかた.....	1-2
ディップスイッチの設定.....底面....	1-4
日時設定.....	1-5
自アドレス、自サブアドレスの登録.....	1-6
電話帳に登録するとき.....電話帳登録....	1-8
画面の映り具合の調整.....	1-10
海外の相手と通信する方へ.....2つのダイヤル入力....	1-12

第2章 TV電話をかける・受ける

電話をかけるとき	普通のダイヤル (TV電話でかける)....	2-2
	普通のダイヤル (音声電話でかける)....	2-4
ハンドセットを置いたままTV電話をかけるとき	オンフックダイヤル....	2-6
ワンタッチでTV電話をかけるとき	ワンタッチダイヤル....	2-8
最後にダイヤルした相手を再度呼び出すとき	再ダイヤル....	2-9
電話を受けるとき	普通に受ける....	2-10
自分の画像を送らないでTV電話を受けるとき	自動送信ミュート....	2-11
通話中に相手に待っていただくとき	保留....	2-12

第3章 より便利にお使いいただくために

(発信) 電話番号を確かめながら電話をかけるとき.....	プリセットダイヤル....	3-2
電話帳から選んで電話をかけるとき.....	電話帳ダイヤル....	3-3
(着信) 電話帳に登録した相手からの着信を呼出音で聞き分けるとき.....	識別着信....	3-4
電話帳に登録していない相手からの着信を受けたくないとき.....	着信拒否....	3-5

もくじ

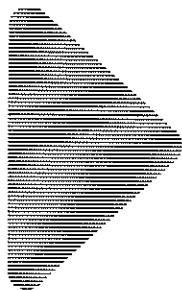
(通信)	相手に自分の声を聞かせないようにするとき	音声ミュート	3-6
	相手に自分の画像を送らないようにするとき	画像ミュート	3-7
	自分の画像と相手の画像を入れかえるとき	自/相手	3-8
	P i n P (子画面) を消去するとき	P i n P	3-9
	高精細静止画を相手に送るとき	静/動	3-10
	自分の画像を左右反対に見るとき	鏡/正	3-11
	通話中に通信条件を変えるとき	通信モードの変更	3-12
	通話中に P B ダイヤルを送出するとき	P B ダイヤル送出	3-14
(設定)	メモリの内容をすべて消去するとき	全消去	3-15
	着信音や保留音の音色を確認するとき	モニタ	3-16
	着信音や保留音の音色を変更するとき	着信音、保留音	3-17
	画面に通話中の経過時間を表示するようにしたいとき	通話時間表示設定	3-18
	自動的に着信させるとき	T V 電話自動着信	3-19
	発信者番号を通知しないでダイヤルするとき	発信者番号通知なしダイヤル	3-20
(登録)	通信条件を設定するとき	通信モードの設定	3-22
(確認)	最近かけた電話の記録を確認するとき	発信記録	3-24
	最近かかってきた電話の記録を確認するとき	着信記録	3-25
	累積料金を確認するとき	累積料金	3-26

第4章 多地点テレビ会議を行う

多地点テレビ会議とは	4-2
多地点テレビ会議の準備	4-5
スイッチと識別番号の設定	4-5
メンバ、グループの登録	4-6
会議状態の設定	4-8
多地点テレビ会議を始めるとき	4-10
多地点テレビ会議中に会議状態を変更するとき ..	4-13
1画面表示と4分割画面表示を切り替えるとき ..	4-14

第5章

外部機器の接続と条件	5-2
トラブル対策	5-4
お手入れのしかた	5-8
索引	5-9
保証・アフターサービス	5-11
仕様	5-12



P I C S E N D - Rの特長

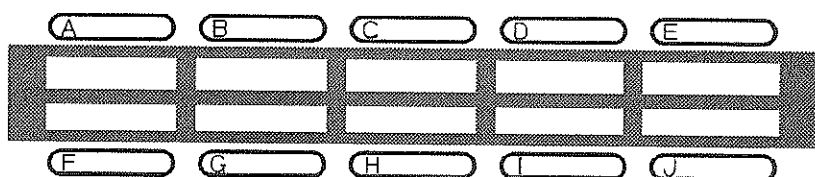
※ P I C S E N D - Rはこんなことができます

ご参照
ページ

ワンタッチダイヤル

ボタンを押すだけで相手を呼び出すことができます。**ワンタッチダイヤル**

2-8



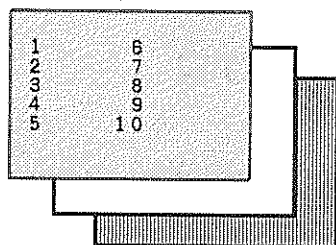
10 あて先

電話帳登録 の30 あて先のうち、10 あて先がワンタッチボタンに対応しています。

1-8

電話帳

30 あて先



よく電話する相手の電話番号や名前、通信モードを30 あて先まで、あらかじめ登録できます。

1-8

電話帳登録

最初の10 あて先が、**ワンタッチダイヤル** のボタンに対応しています。

2-8

電話帳を開いて、あて先を指定してすぐに相手を呼び出せます。**電話帳ダイヤル**

3-3

電話帳に登録してある相手からの着信は、呼出音の鳴り方を変えることができます。

3-4

識別着信

電話帳に登録していない相手からの着信を、受けないようにすることができます。**着信拒否**

3-5

自動着信機能

T V電話のところに人がいなくても、自動的に着信し、応答させることができます。

3-19

ルームモニタや遠隔監視など、無人運用に利用できます。**T V電話自動着信**

音声ミュート、 画像ミュート

一時的に、音声や画像を相手に送らないようにすることができます。**音声ミュート**、**画像ミュート**

3-6

音声ミュートと画像ミュートは、別々に使うことができます。

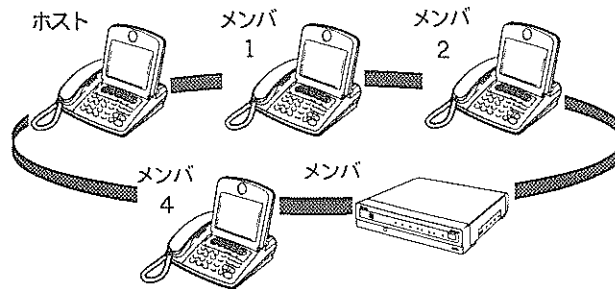
3-7

ご参照
ページ

多地点テレビ会議

最大で5地点の、P I C S E N D - R または
P I C S E N D - C を同時に結んで、音声と
画像を使った会議が開けます。

4-2
~ 14



高精細静止画

写真や資料など、目的に応じて高精細の静止画を送信
できます。

3-10

(相手側の装置が P I C S E N D - R または
P I C S E N D - C のときにご利用になれます。)

	解像度* (水平 X 垂直)	動き
高精細静止画	704 X 480	静止画
画質重視動画	352 X 288	最大10フレーム/秒
動き重視動画	176 X 144	最大15フレーム/秒

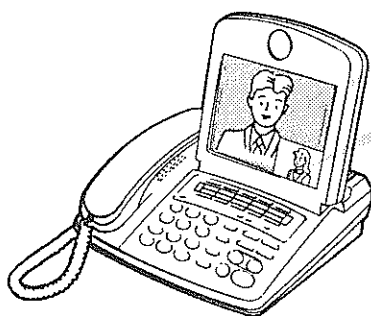
* 鮮明度は、カメラ、ディスプレイの性能により異なります。

P in P (親子画面)

Picture in Picture

相手の画像と自分の画像が同時に見れます。

3-8
~ 9



親画面

子画面

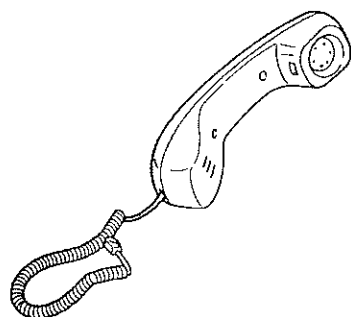
子画面表示のON/OFF、親画面と子画面の画像入れ
替えなど自由にできます。

セットを確認してください

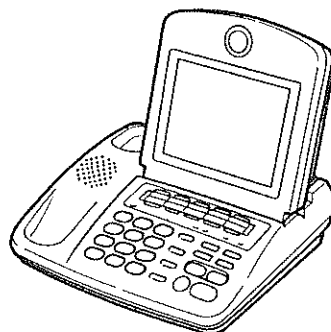
梱包の中には、下記のものが入っています。ご確認の上、取り出してください。

(P I C S E N D - R 本体のモニタにある保護シートは、モニタをキズつけないようにはがしてください。)

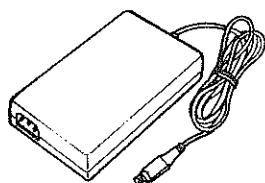
本装置を運搬する時や、修理ご依頼時には、本装置を梱包しているダンボール箱をご利用されますと、大切な機器の保護に大変便利です。ダンボール箱はぜひ保管されることをおすすめします。



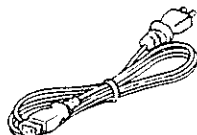
ハンドセット(カールコード付き) (1個)



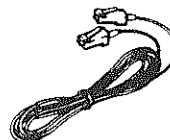
P I C S E N D - R 本体 (1台)



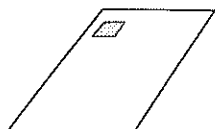
ACアダプタ (1個)



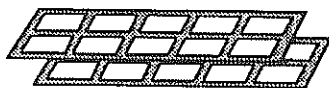
電源コード (1本)
2.2m



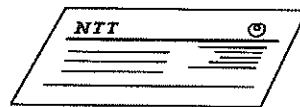
電話機コード (1本)
3m



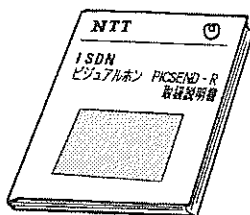
アンケートはがき (1葉)



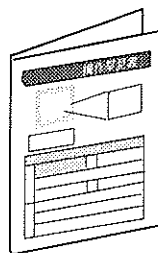
ワンタッチ記名紙 (予備2枚)



保証書 (1枚)



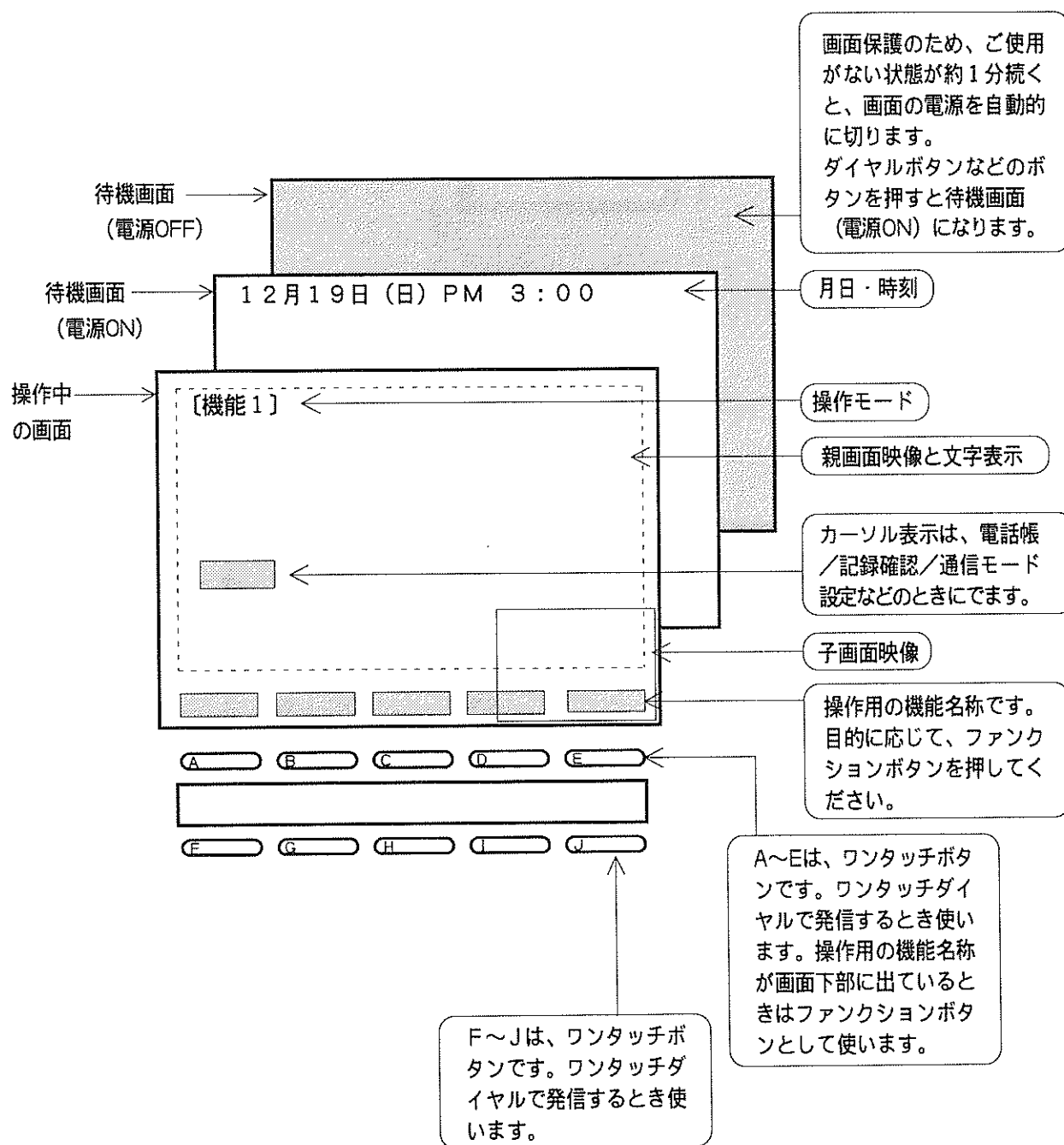
取扱説明書 (本書)

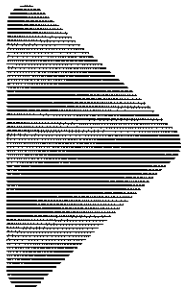


操作早見表

モニタの見方

※ 5.6インチカラー液晶モニタには、テレビ電話としての映像のほか、
操作ガイダンスの文字がスーパーインポーズで表示されます。

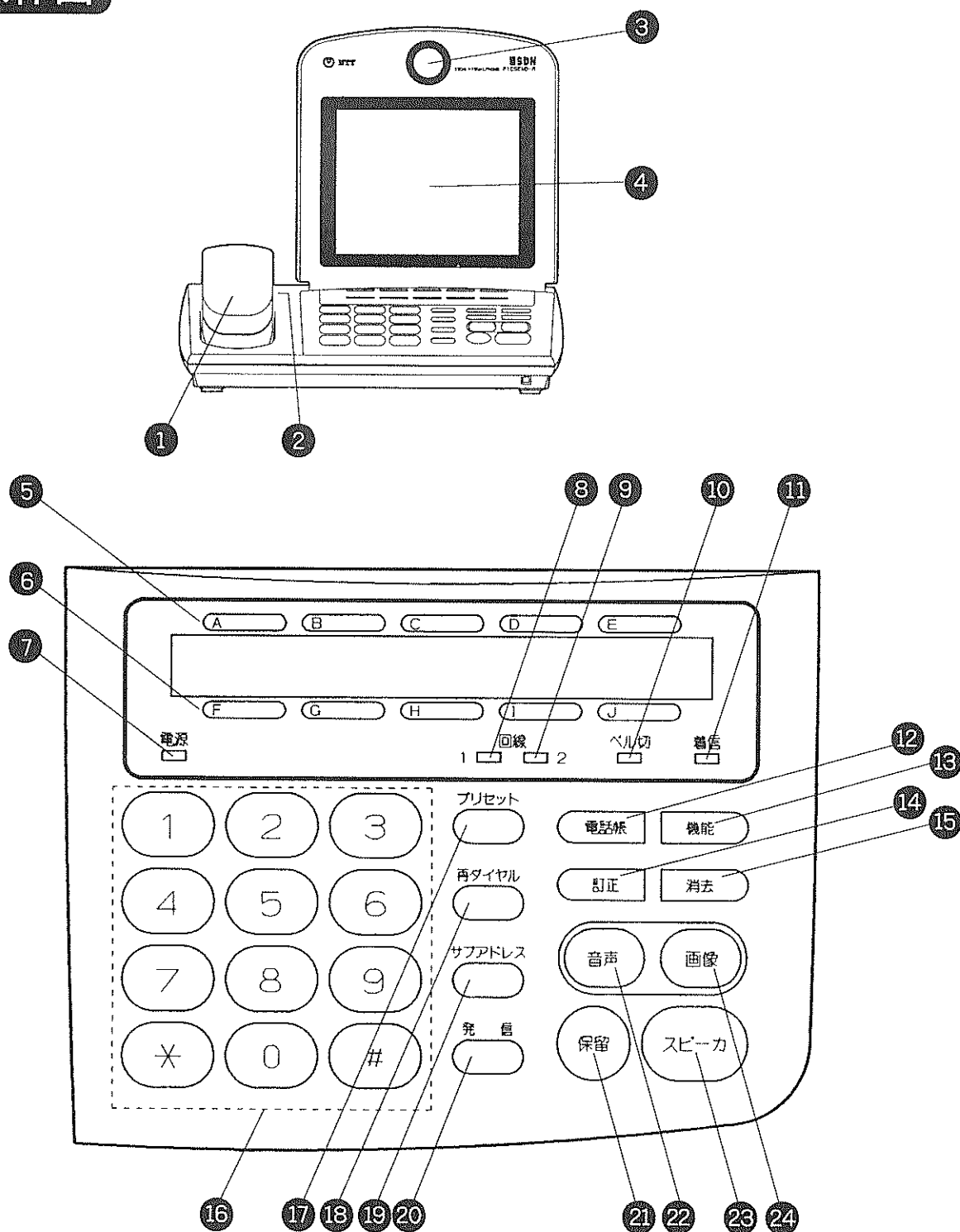




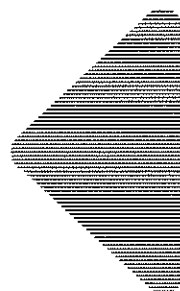
各部のなまえとはたらき

操作面

操作面



各部のなまえとはたらき (操作面)



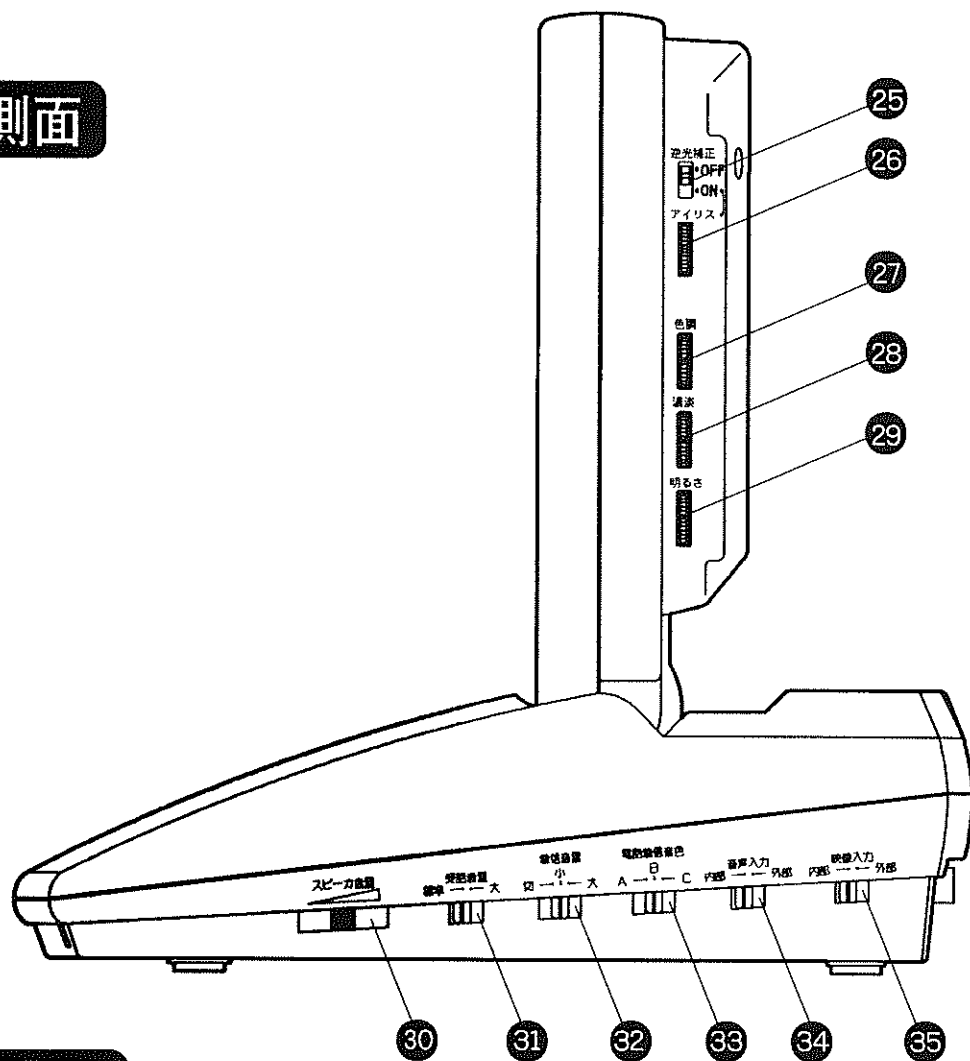
- ① ハンドセット
相手と通話するとき使います。
- ② スピーカ
オンフックダイヤルやスピーカ受話をするとき使います。
- ③ カメラ
こちらの様子を映し相手に送るためのカメラです。逆光補正やアイリスの調整は、側面で行います。
- ④ モニタ
5.6インチのカラー液晶モニタです。相手や自分の画像が映ります。色調や濃淡、明るさの調節は、側面で行います。
- ⑤ ワンタッチボタン (A～E)
ワンタッチダイヤルで発信するとき使います。操作用の機能名称が画面下部に表示されているときは、ファンクションボタンとして使います。
- ⑥ ワンタッチボタン (F～J)
ワンタッチダイヤルで発信するとき使います。
- ⑦ 電源ランプ (緑)
電源が入っているとき点灯します。
- ⑧ 回線1ランプ (赤)
音声電話、またはTV電話中に点灯します。
接続動作中は点滅します。
- ⑨ 回線2ランプ (赤)
INSネット64のチャンネルを2Bとも使用したTV電話中に点灯します。接続動作中は点滅します。
- ⑩ ベル切ランプ (赤)
着信音量切替スイッチを「切」に設定したとき点灯します。
- ⑪ 着信ランプ (緑/赤)
TV電話の着信時に緑で点滅します。
音声電話の着信時に赤で点滅します。
- ⑫ 電話帳ボタン
電話帳登録や電話帳ダイヤルのとき使います。
- ⑬ 機能ボタン
各種機能の選択や登録に使います。
- ⑭ 訂正ボタン
登録やダイヤルのとき1文字消去に使います。
- ⑮ 消去ボタン
登録やダイヤルのとき全文字消去に使います。
- ⑯ ダイヤルボタン
ダイヤルや番号登録のとき使います。
- ⑰ プリセットボタン
電話番号を確認しながらダイヤルするとき使います。
- ⑱ 再ダイヤルボタン
最後にダイヤルした相手を再度呼び出すとき使います。
- ⑲ サブアドレスボタン
サブアドレスを指定するダイヤルや登録のとき使います。
- ⑳ 発信ボタン
ダイヤル後、すぐに発信するとき使います。
- ㉑ 保留ボタン・ランプ
相手に待っていただくとき、保留メロディを出力するために使います。
- ㉒ 音声ボタン・ランプ
こちらの音声を送ったり止めたりするとき使います。
- ㉓ スピーカボタン・ランプ
ハンドセットを置いたまま電話をかけるとき使います。
- ㉔ 画像ボタン・ランプ
TV電話をかけているとき、こちらの画像を送ったり止めたりするとき使います。自画像表示にも使います。

各部のなまえとはたらき

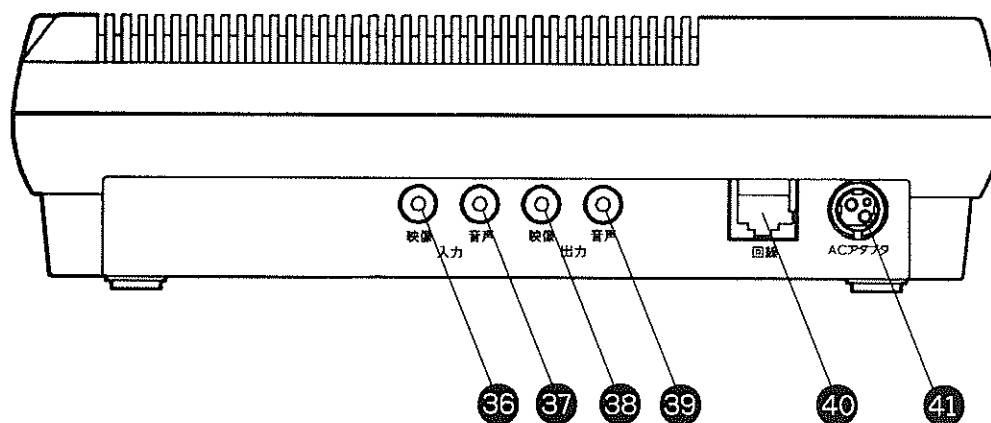
側面

背面

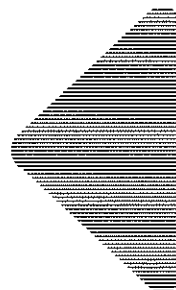
側面



背面



各部のなまえとはたらき (側面、背面)



25 逆光補正切替スイッチ (ON、OFF)

自分の背景が明るいとき、自分の顔が暗く映らないように補正する機能 (逆光補正) を自動 (OFF) で行うか手動 (ON) で行うかを選択します。

26 アイリス調整ボリューム

カメラのしぼり調整。自分の顔がちょうど良い明るさになるようにするとき使います。逆光補正切替スイッチがONのとき調整できます。

27 色調調整ボリューム

モニタの色合い調整。
肌の色を目安に色合いを調整します。

28 濃淡調整ボリューム

モニタの色の濃さ調整。
少し淡いほうが見やすくなります。

29 明るさ調整ボリューム

モニタの明るさ調整。周囲の明るさに応じて見やすい明るさに調整します。

30 スピーカ音量調整ボリューム

スピーカからでる音量を調整します。

31 受話音量切替スイッチ (標準、大)

ハンドセットからでる音量を調整します。

32 着信音量切替スイッチ (切、小、大)

着信したときの呼出音の大きさを切り替えます。

33 電話着信音色切替スイッチ (A、B、C)

音声電話がかかってきたときの呼出音を切り替えます。

34 音声入力切替スイッチ (内部、外部)

TV電話中に、相手に送る音声を切り替えます。

35 映像入力切替スイッチ (内部、外部)

TV電話中に、相手に送る映像を切り替えます。

36 映像入力端子

外部機器を接続するとき使います。TV電話中に、映像入力切替スイッチを「外部」に設定しているとき、相手に外部機器の映像を送ることができます。

自画像表示のとき、映像入力切替スイッチを「外部」に設定すると外部機器の映像を見ることができます。

37 音声入力端子

外部機器を接続するとき使います。TV電話中に、音声入力切替スイッチを「外部」にしているとき、相手に外部機器の音声を送ることができます。

ただし、ハンドセットを上げて話しているときは、ハンドセットの音声を相手に送ります。

38 映像出力端子

外部機器を接続するとき使います。

39 音声出力端子

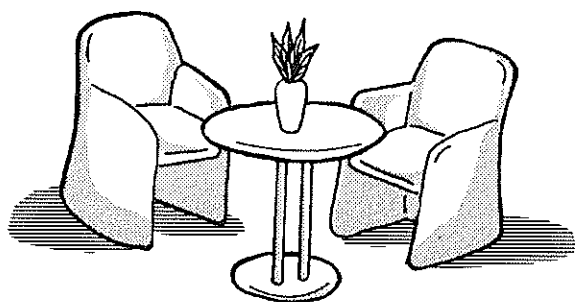
外部機器を接続するとき使います。

40 ISDN回線用ジャック

添付品の電話機コードで、ISDN回線と接続します。

41 ACアダプタ接続端子

添付品のACアダプタで電源 (AC100V) と接続します。



第1章 お使いになる前に

接続のしかた.....	1-2
ディップスイッチの設定.....底面.....	1-4
日時設定.....	1-5
自アドレス、自サブアドレスの登録.....	1-6
電話帳に登録するとき.....電話帳登録.....	1-8
画面の映り具合の調整.....	1-10
海外の相手と通信する方へ.....2つのダイヤル入力....	1-12

1

2

3

4

5

接続のしかた

本装置の背面で、ACアダプタ、回線、外部機器との接続をします。

警告

■ AC100V50/60Hz以外は接続しないでください



AC100Vの家庭用電源以外は、絶対に使用しないでください。冷暖房機や大型電気製品の高い電圧に接続すると火災・感電の原因となります。

■ プラグを抜くときは必ずプラグを持ってください



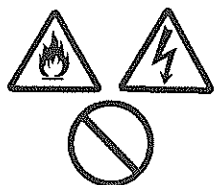
電源コードのプラグを抜くときは、コードを引っ張ったりしないで、必ずプラグをもって抜いてください。コードを引っ張るとコードを傷め、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら販売店に交換を依頼してください。

■ 濡れた手でプラグを抜き差ししないでください



濡れた手でプラグの抜き差しは感電の原因になります。

■ 電源コードは傷つけないでください



電源コードを傷つけないように注意してください。電源コードを無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、加工したり、束ねたりしないでください。また、本装置の下や、イス、テーブルの脚や物に挟んだりしないようにしてください。これらは、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら販売店に交換を依頼してください。

■ たこ足配線はしないでください



分岐ソケットや分岐コンセントによるたこ足配線はしないでください。火災・感電の原因となります。

■ ACアダプタは添付のものを使用してください

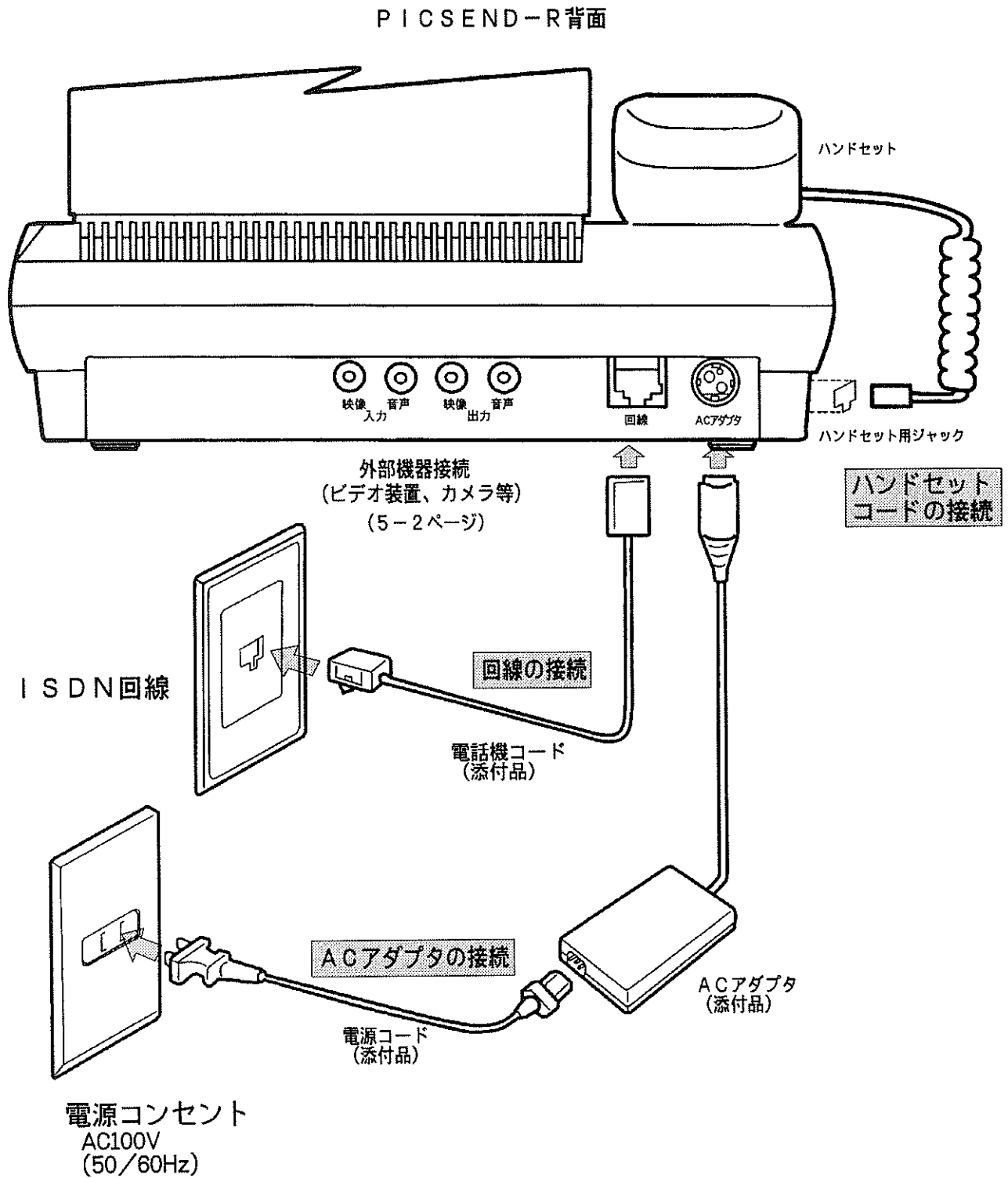
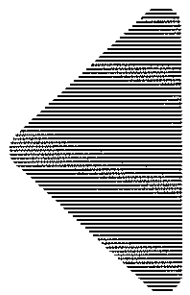


それ以外のものは、使用しないでください。火災の原因となります。

注意



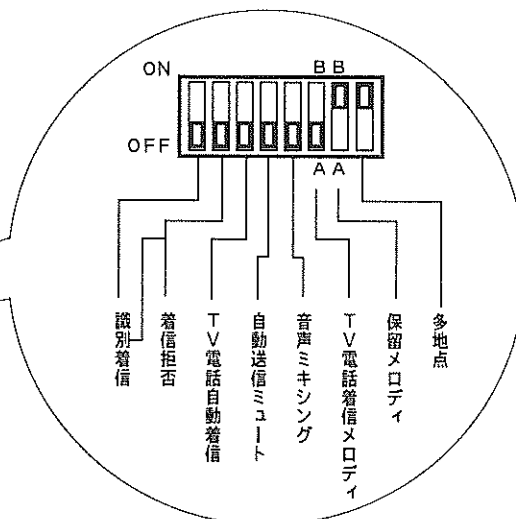
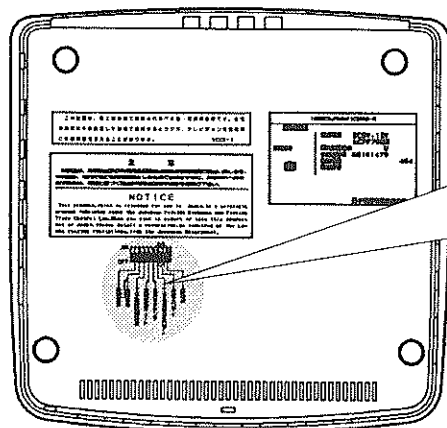
● 接続のときは、安全のため電源プラグを抜いてください。



ディップスイッチの設定

底面

P I C S E N D - R 底面

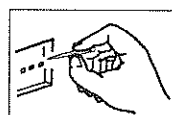


ディップスイッチの拡大図

機 能	設 定 内 容	参照ページ
識 別 着 信	ON: かけてきた相手を識別します。 OFF: かけてきた相手を識別しません。	3-4
着 信 拒 否	ON: 識別着信ONのときに、電話帳に登録していない相手からの着信を拒否します。 OFF: 識別着信ONのときに、電話帳に登録している相手からの着信時、呼出音をかえます。	3-5
T V 電 話 自 動 着 信	ON: TV電話がかかってきたとき自動応答します。 OFF: TV電話がかかってきたとき自動応答しません。	3-19
自 動 送 信 ミ ュ ー ト	ON: TV電話がかかってきたとき、自動送信ミュート（自動的に画像を送らず、音声のみ送る状態）で応答します。 OFF: TV電話がかかってきたとき、通常の画像と音声を送信する状態で応答します。	2-11
音 声 ミ キ シ ン グ	ON: 相手から聞こえる音と、相手への音をミックスして、外部音声出力端子より出力します。 OFF: 相手から聞こえる音のみを外部音声出力端子より出力します。	5-3
T V 電 話 着 信 メ ロ デ ィ	A: TV電話がかかってきたときの着信音（メロディ）を「メロディ・フェア」にします。 B: TV電話がかかってきたときの着信音（メロディ）を「レット・イット・ビー」にします。	3-16 3-17
	TV電話自動着信が「ON」のときに、着信音量切替スイッチを「切」に設定したときは、 A: 相手に画像と音声を送る B: 画像のみを送る の設定に使います。	3-19
保 留 メ ロ デ ィ	A: 保留にしたときのメロディを「メロディ・フェア」にします。 B: 保留にしたときのメロディを「レット・イット・ビー」にします。	3-16 3-17
多 地 点	ON: 多地点テレビ会議を使うとき設定します。 OFF: TV電話としてのみ使うとき設定します。	4-2

STOP お願い

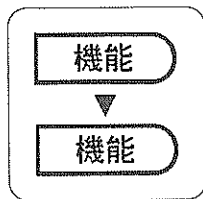
※ディップスイッチを切り替えるときは、先端が金属でない、楊枝のようなものをお使いください。



日時設定

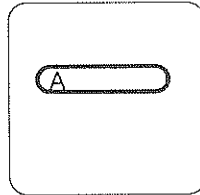
1

機能 を2回押します。



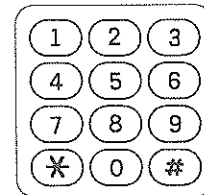
2

月日時刻 (A) を押します。

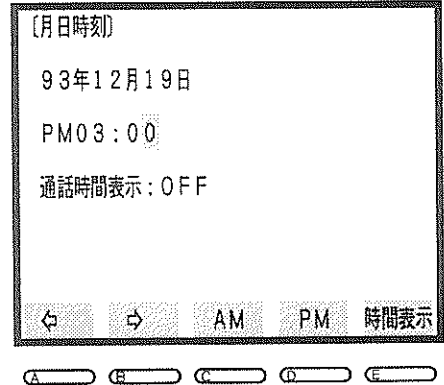
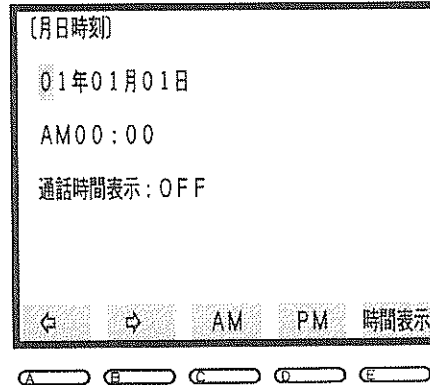
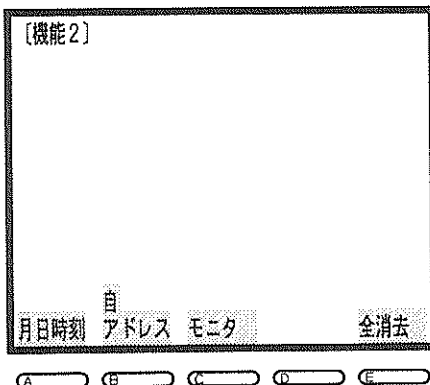


3

年、月、日、時刻 を入力します。



(設定例)
1993年12月19日 15:00に設定



累積料金開始時刻の設定について

初めて、お使いになるときは、累積料金を正しく設定するため、日時設定のあと累積料金の消去(3-26ページ)を行ってください。

入力

年	西暦 下2桁
月日	2桁、2桁
時分	2桁(12時間制)、2桁

AM/PMを設定するときは

AM (C) を押すとAMに設定され、カーソルが時刻に移動します。
PM (D) を押すとPMに設定され、カーソルが時刻に移動します。

入力時刻を間違えたときは

← (A) を押すと、分→時→日→月→年の順にカーソルが移動します。
→ (B) を押すと、年→月→日→時→分の順にカーソルが移動します。

終了で元に戻るときは

機能 を1回押すと、表示されている時刻を設定し、時計をスタートします。さらに **機能** を1回押すと、待機画面に戻ります。

時間表示

通話開始時の通話時間を消す/出すことができます。
通話時間表示設定(3-18ページ)を参照してください。

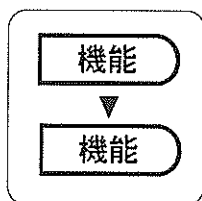
ご注意

存在しない年月日、時刻のときは、**機能** を押しても無効になります。

自アドレス、自サブアドレスの登録

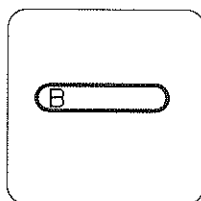
1

機能 を2回押します。



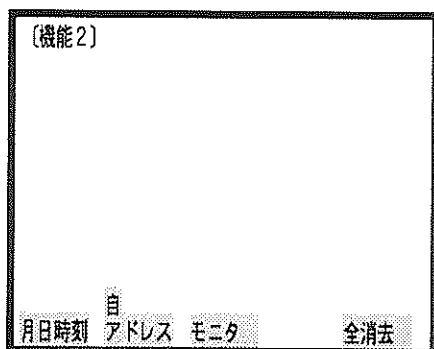
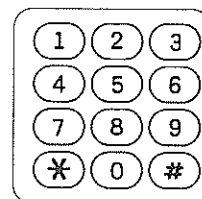
2

自アドレス (B) を押します。

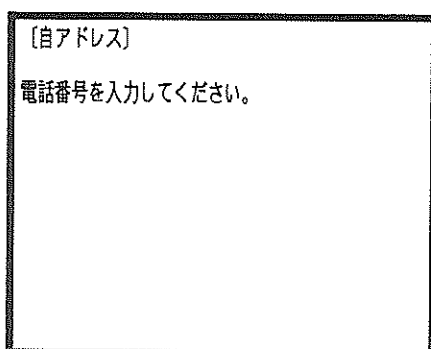


3

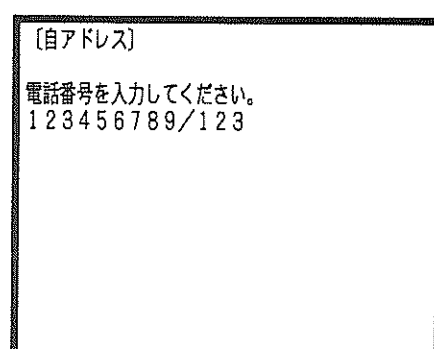
電話番号を入力します。



A B C D E



A B C D E



A B C D E

すでに登録されているときは

すでに登録されている番号を表示します。

登録の桁数は

自アドレス：最大24桁、自サブアドレス：最大19桁まで入力できます。

電話番号を間違えたときは

訂正 を押すと、直前に入力した番号1桁を入力最終桁から取り消します。
消去 を押すと、入力した電話番号全部を取り消します。

自サブアドレスを入力するときは

サブアドレス を押してから、サブアドレス番号を入力します。

自アドレスは

自アドレスを登録する時は、必ず市外局番から入力してください。

4

入力が終わったら、**機能** を押します。

機能

[機能2]

月日時刻 自 アドレス モニタ 全消去

A B C D E

終了で元に戻るときは

機能 を押すと、待機画面に戻ります。

自アドレス/自サブアドレスの使い方

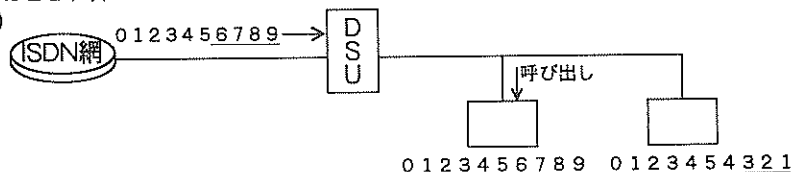
自アドレス/自サブアドレスにより、同じ回線上のほかの機器と区別できます。区別のしかたは、2つの方法があります。

①ダイヤルインサービスを使用する方法

ダイヤルインサービスに加入すると、1本の電話回線で複数の機器を、別々の電話番号で使えるようになります。

このとき、自アドレスを必ず登録してください。

(例)



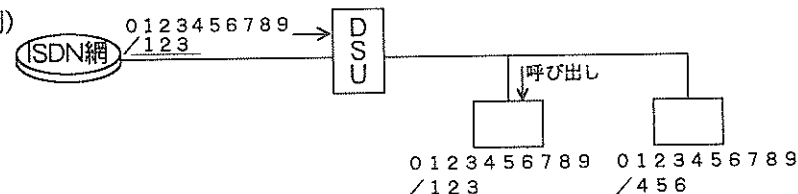
・ダイヤルインサービスの加入は、NTTへの申し込みが必要です。

②ダイヤルインサービスを使用しない方法

複数の機器にそれぞれのサブアドレス（枝番）をつけ、あたかも複数の電話番号を接続しているかのように使うことができます。

(ただし、アナログ網から指定することはできません。)

(例)



自アドレス/自サブアドレスが登録してあるときは

相手がダイヤルしてきた電話番号（アドレス/サブアドレス）と、登録してある電話番号を照合し、一致とみなしたときだけ呼出音が鳴ります。

アドレスは、電話番号の後ろから比較して、番号が同じとき一致とします。

サブアドレスは、番号が完全に同じとき一致とします。

相手がダイヤルしてくる電話番号 アドレス/サブアドレス	登録してある 自アドレス/自サブアドレス	動作
0123456789/123	0123456789/123	呼出音が鳴る
	0123456789	呼出音が鳴る
	0123456789/12	着信しない
	/123	呼出音が鳴る
	/12	着信しない

電話帳に登録するとき

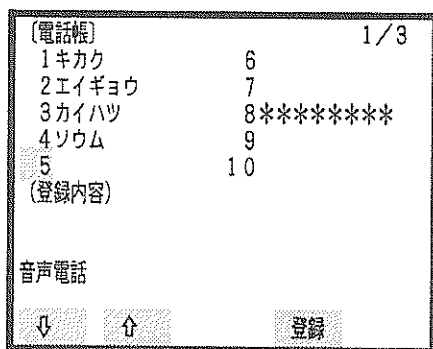
電話帳登録

1

電話帳 を押します。



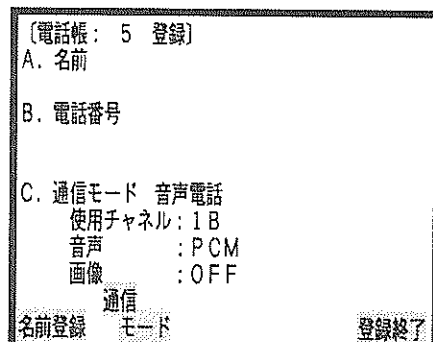
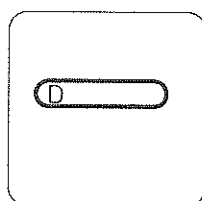
⇩ (A) または ⇨ (B) を押して、カーソル表示に登録したい番号に合わせます。



A B C D E

2

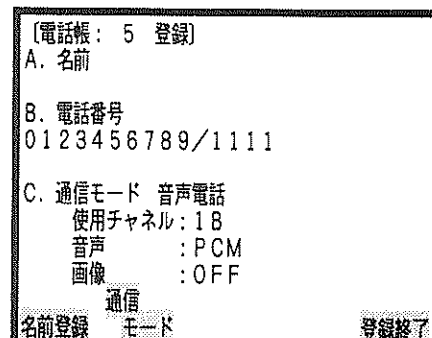
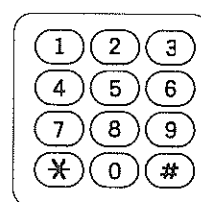
登録 (D) を押します。



A B C D E

3

ダイヤルボタンで電話番号を入力します。



A B C D E

電話帳

30

宛先 まで入ります。

電話帳

1 / 3 ページ
(1 ~ 10)

電話帳

2 / 3 ページ
(11 ~ 20)

電話帳

3 / 3 ページ
(21 ~ 30)

- ・電話帳画面の中の(登録内容)には、登録してある電話番号と通信モードが表示されます。
- ・名前が登録されていないときは、***** が表示されます。

すでに、登録してある場合は、登録してある内容が表示されます。

ご注意

電話番号が入力されていないと、名前の登録ができません。
はじめに電話番号を入力してください。

電話番号を入力します

アドレス:24桁、サブアドレス:19桁まで入力できます。
アドレスを入力するときは、市外局番から入力してください。
海外の相手と通話する場合は、2つのダイヤル入力(1-12ページ)を参照してください。

電話番号を間違えたときは

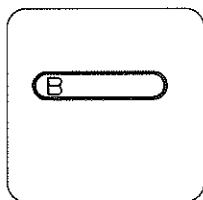
訂正 を押すと、直前に入力した番号1桁を入力最終桁から取り消します。
消去 を押すと、入力した電話番号全部を取り消します。

サブアドレスを入力するときは

サブアドレス を押してから、サブアドレス番号を入力します。

4

通信モード (B) を押して
通信モードを選択します。

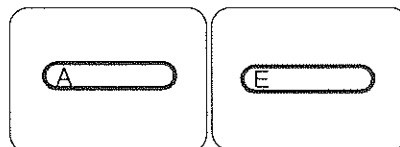


[電話帳: 5 登録]
A. 名前
B. 電話番号
0123456789/1111
C. 通信モード TV電話2 (2B, 音声優先)
使用チャンネル: 2B
音声: PCM
画像: 画質重視
通信モード
名前登録 モード 登録終了

A B C D E

5

名前登録 (A) を押します。
カーソルで文字を選択し **設定**
(E) を押します。数字はダイ
ヤルボタンで入力します。
名前は8文字まで入力できます。

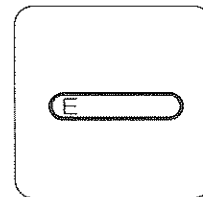


[電話帳: 5 登録]
名前を登録してください。
ケイリ-----
アカサタナハマヤラワガザダバパァAFKPUZ
イキシチニヒミキリヲギジチビビュBGLQV/
ウクスツヌフムユルソングズツブブヨCHMRW/
エケセテネヘメエレヴゲゼベベエッDINSX空
オコソトノホモヨローゴソドボボォヱJOTY終
通信 設定
名前登録 モード 登録終了

A B C D E

6

「終」の文字をカーソルで選択
します。
設定 (E) を押します。

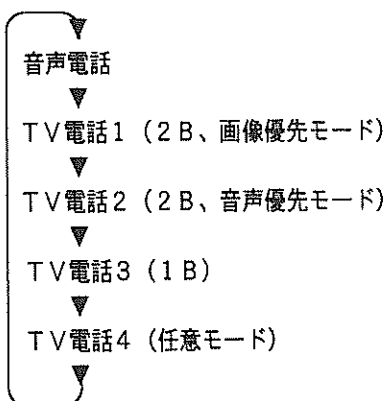


[電話帳] 1/3
1キカク 6
2エイギョウ 7
3カイハツ 8*****
4ソウム 9
5ケイリ 10
(登録内容)
0123456789/1111
TV電話2 (2B, 音声優先)
通信 登録
名前登録 モード 登録終了

A B C D E

通信モードを選択します

通信モード (B) を押すごとに通信モ
ードを変えられます。



通信モードの詳細は、通信モードの設定
(3-22ページ) を参照してください。

名前を間違えたときは

訂正 を押すと、直前に入力した1文字
を入力最終桁から取り消します。
消去 を押すと、入力した名前全部を取
り消します。

8文字入力したときは

8文字目を選択し、**設定** (E) を押すと、
自動的に電話帳に登録されます。

名前登録を行わないときは

登録終了 (E) を押すと名前登録をしな
いで登録されます。その場合、名前表示
は ***** となります。

電話帳を終わるときは

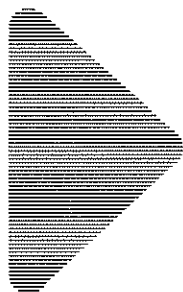
待機画面に戻るまで **電話帳** を押しま
す。

その他

電話番号や通信モードの登録操作中に
電話帳 を押すと、電話番号や通信モ
ードの登録を行わないで終了します。

TV電話4でお好みのモードに
なっていないときは

通信モードの設定 (3-22ページ)
で、希望するモードに変更してくださ
い。

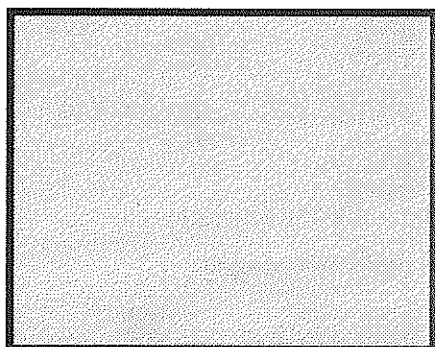


画面の映り具合の調整

※ ご使用の前に、まず画面に自分の画像を映し出して、画面の映り具合を調整してください。

1

電源が入っていても、モニタ（液晶）保護のため、ご使用がない状態が約1分続くと、自動的にモニタの電源が切れ、画面が暗くなっています。

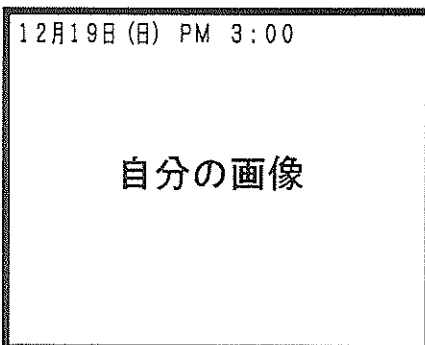


2

画像 ボタンを押すと、自分の画像を画面に映し出します。



ランプが点灯します。



自分の画像は鏡像（鏡を見たときの状態）表示になります。

自分の画像の映り具合を、次ページの注意事項をご参照の上、調整してください。

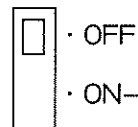
自分の画像の表示が終わるときは

画像 を押します。

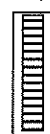
側面

モニタの右側面にスイッチ・ボリュームがついていますので調整してください。

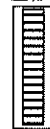
逆光補正



アイリス



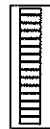
色調

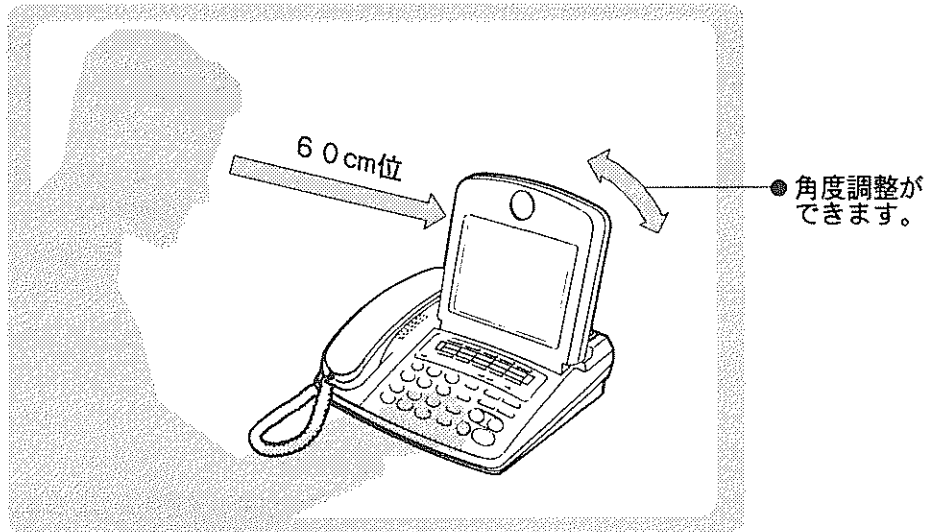


濃淡



明るさ





距離は、60 cm位が適当です

本装置のカメラは、割合、広く映るようになっています。

(本装置にズーム機能はありません。)

ご自分の顔など、もう少し大きく映したいときは、本装置を手前の方に引き寄せます。(必要なときは外部カメラを接続してください。)

距離は、片手をのばして届く位の距離：60 cm位が適当です。

向きは、真正面にします

カメラが、ご自分の顔の真正面にくるように本装置の向きをセットしてください。

画面は、前後に倒れますので、映り具合が最適になるように角度を調整してください。

照明は、自分に当たるようにします

天井の照明が、直接カメラに映らないように気を付けてください。

側面のスイッチ・ボリューム調整

逆光補正切替スイッチ (ON、OFF)	自分の背景が明るいとき、自分の顔が暗く映らないように補正する機能(逆光補正)を、自動(OFF)で行うか手動(ON)で行うかを選択します。
アイリス調整ボリューム	カメラのしぼり調整。自分の顔がちょうど良い明るさになるように調整します。逆光補正切替スイッチがONのとき調整できます。
色調調整ボリューム	モニタの色合いを、肌の色を目安に調整します。
濃淡調整ボリューム	モニタの色の濃淡を調整します。少し淡いほうが見やすくなります。
明るさ調整ボリューム	周囲の明るさに応じて見やすい明るさに調整します。

海外の相手と通信する方へ

■ 2つのダイヤル入力

相手を呼び出すとき、相手（北米の一部、カナダの一部など）によっては2つの電話番号を必要とすることがあります。そのときは次のように電話番号を入力してください。

① 2つの電話番号をすべて入力する方法

それぞれの電話番号の間に、**サブアドレス**を押して「/」を入力します。たとえば、

1つ目：001-1-123-456-7890（サブアドレス）0012

2つ目：001-1-123-789-0123（サブアドレス）0034

のとき、

00111234567890/0012/00111237890123/0034

と入力します。

② 2つ目の電話番号を差分の形で入力する方法

アドレス、サブアドレスそれぞれの異なる部分以降の番号を入力します。たとえば、

1つ目：001-1-123-456-7890（サブアドレス）0012

2つ目：001-1-123-789-0123（サブアドレス）0034

のとき、

00111234567890/0012/7890123/34

（アドレス差分）（サブアドレス差分）

と入力します。

③ 相手の電話番号に、サブアドレスが無い場合

2つの電話番号の間に、**サブアドレス**を2回押して「//」を入力します。たとえば、

1つ目：001-1-123-456-7890（サブアドレス無し）

2つ目：001-1-123-789-0123（サブアドレス無し）

のとき、

00111234567890//00111237890123

と入力します。

ご注意

いずれの場合においても、電話番号と【/】を合わせて44桁まで入力できます。

■ 関連する操作

操 作 の 内 容	ページ
電話帳に登録するとき……………電話帳登録	1-8
電話をかけるとき……………普通のダイヤル（TV電話でかける）	2-2
ハンドセットを置いたままTV電話をかけるとき……………オンフックダイヤル	2-6
電話番号を確かめながら電話をかけるとき……………プリセットダイヤル	3-2
発信者番号を通知しないでダイヤルするとき…発信者番号通知なしダイヤル	3-20

第2章 TV電話をかける・受ける

電話をかけるとき	普通のダイヤル (TV電話でかける)....	2-2
	普通のダイヤル (音声電話でかける)....	2-4
ハンドセットを置いたままTV電話をかけるとき	オンフックダイヤル....	2-6
ワンタッチでTV電話をかけるとき	ワンタッチダイヤル....	2-8
最後にダイヤルした相手を再度呼び出すとき	再ダイヤル....	2-9
電話を受けるとき	普通に受ける....	2-10
自分の画像を送らないでTV電話を受けるとき	自動送信ミュート....	2-11
通話中に相手に待っていただくとき	保留....	2-12

1

2

3

4

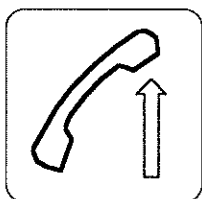
5

電話をかけるとき

普通のダイヤル（TV電話でかける）

1

ハンドセットを上げます。



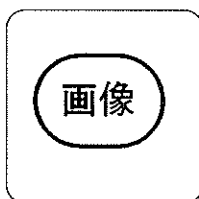
発信音（ツーという連続音）を確認します。

〔ダイヤル〕
電話番号を入力してください。

音声電話

2

画像 を押します。



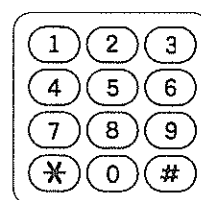
画像ランプが点灯します。

〔ダイヤル〕
電話番号を入力してください。

TV電話1（2B, 画像優先）

3

電話番号をダイヤルします。



〔ダイヤル〕
電話番号を入力してください。
0123456789/1234

TV電話1（2B, 画像優先）

画像ボタンを押さないと

音声電話として発信します。
音声電話の条件で回線を接続してしまうと、**画像** を押しても画像を送ることはできませんので、電話をかけなおします。

なお、ダイヤルの途中で、**画像** を押してTV電話をかけることもできます。

TV電話の通信モードは

通信モードの設定（3-22ページ）で設定された通信モードになります。

電話番号を間違えたときは

訂正 を押すと、直前に入力した番号1桁を入力最終桁から取り消します。

消去 を押すと、入力した電話番号全部を取り消します。

サブアドレスを入力するときは

サブアドレス を押してから、サブアドレス番号を入力します。

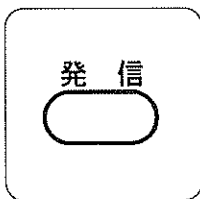
電話をかけるのに2つの電話番号が必要なときは

2つのダイヤル入力（1-12ページ）を参照して入力してください。

普通のダイヤル
(TV電話でかける)

4

発信 を押します。

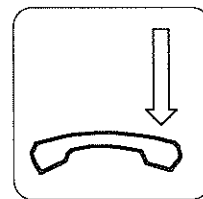


5

相手が出たらお話しします。
(相手画像は数秒後に表示されます。)

6

お話しが終わったら、ハンド
セットを戻します。



[発信] 0123456789/1234 TV電話1 (2B, 画像優先)	
自分画像	

自分の画像が、子画面に表示されます。

発信 を押さないまま 4 秒たつと

自動的に発信します。

**通話開始時の通話時間の表示を
消す／出すときは**

通話時間表示設定 (3-18 ページ)
を参照してください。

ワンポイント

回線がつながった直後、ブツブツとい
う音がします。これは通信開始時の音
声デジタル処理によるもので異常で
はありません。

[TV電話] 通話: 00-01 0123456789/1234	
自分画像	

**相手画像がなかなか表示されない
ときは**

通信モードの設定で画像送信速度が
遅いモードの設定になっています。

例えば TV電話4 (任意)
使用チャンネル: 1B
音声: PCM
画像: 画質重視

の場合は、相手画像が表示されるま
で数十秒かかる場合があります。
画像表示を速くしたい場合、その場
で通信モードの変更ができます。
通信モードの変更 (3-12 ページ)
で、使用チャンネルを 2B に変更する
と画像表示が速くなります。

**通話時間の表示を消す／出す
ときは**

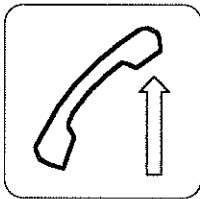
通話中に **消去** を押してください。
相手先の電話番号も同時に消したり
出したりします。

電話をかけるとき

普通のダイヤル（音声電話でかける）

1

ハンドセットを上げます。



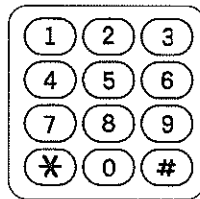
発信音（ツーという連続音）を確認します。

[ダイヤル]
電話番号を入力してください。

音声電話

2

電話番号をダイヤルします。



[ダイヤル]
電話番号を入力してください。
0123456789/1234

音声電話

3

発信 を押します。



[発信]
0123456789/1234

音声電話

電話番号を間違えたときは

訂正 を押すと、直前に入力した番号
1桁を入力最終桁から取り消します。

消去 を押すと、入力した電話番号全
部を取り消します。

間違って画像を押したときは

音声 を押すと再び音声電話に設定
されます。このとき、音声ランプ
が点灯します。

サブアドレスを入力するときは

サブアドレス を押してから、サブ
アドレス番号を入力します。

発信 を押さないまま4秒たつと

自動的に発信します。

普通のダイヤル
(音声電話でかける)

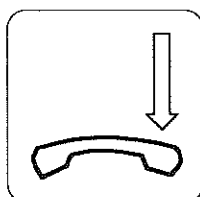


4

相手が出たらお話しします。

5

お話しが終わったら、ハンド
セットを戻します。



[音声電話]	
通話:	00-01
0123456789/1234	

[音声電話]	
切断:	03-12
0123456789/1234	
	40円

通話時間の表示を消す／出す
ときは

通話中に **消去** を押してください。
相手先の電話番号は消えません。

通話開始時の通話時間の表示を
消す／出すときは

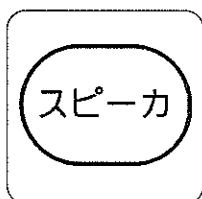
通話時間表示設定 (3-18 ページ)
を参照してください。

ハンドセットを置いたまま TV電話をかけるとき

オンフックダイヤル

1

スピーカ を押します。



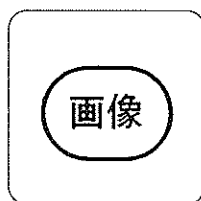
スピーカランプが点灯します。
発信音（ツーンという連続音）
を確認します。

[ダイヤル]
電話番号を入力してください。

音声電話

2

画像 を押します。



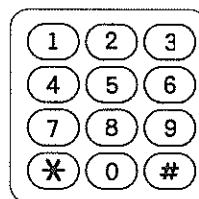
画像ランプが点灯します。

[ダイヤル]
電話番号を入力してください。

TV電話1（2B、画像優先）

3

電話番号をダイヤルします。



[ダイヤル]
電話番号を入力してください。
0123456789/1234

TV電話1（2B、画像優先）

TV電話の通信モードは

通信モードの設定（3-22ページ）
で設定された通信モードになります。

音声電話をかけるときは

画像 を押す必要はありません。

電話番号を間違えたときは

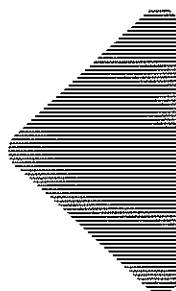
訂正 を押すと、直前に入力した番号
1桁を入力最終桁から取り消します。
消去 を押すと、入力した電話番号全
部を取り消します。

サブアドレスを入力するときは

サブアドレス を押してから、サブアド
レス番号を入力します。

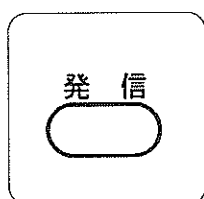
電話をかけるのに2つの電話 番号が必要なときは

2つのダイヤル入力（1-12ページ）
を参照して入力してください。



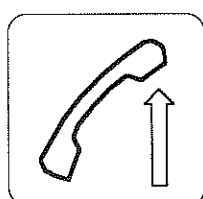
4

発信 ボタンを押します。



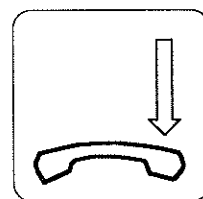
5

相手が出たら、ハンドセットを
上げてお話しします。



6

お話しが終わったら、ハンドセ
ットを戻します。



[発信]	
0123456789/1234	
TV電話1 (2B, 画像優先)	
	自分画像

[TV電話]	00-01
通話:	0123456789/1234
	自分画像

[TV電話]	03-12
切断:	0123456789/1234
	40円

発信 を押さないまま4秒たつと
自動的に発信します。

通話時間の表示を消す／出す
ときは

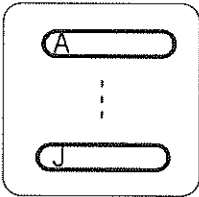
通話中に **消去** を押してください。
TV電話のときは、相手先の電話番号も
同時に消したり出したりします。

ワンタッチでTV電話をかけるとき

ワンタッチダイヤル

1

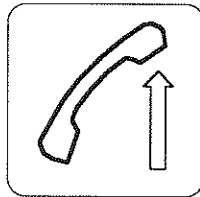
ワンタッチダイヤルボタンの
(A)～(J)を押します。



ワンタッチ A～Jは、電話帳の登録内容1～10に対応します。

2

ハンドセットを上げます。



3

相手が出たらお話しします。

[ワンタッチダイヤル: A 確認]

A. 電話番号
0123456789/1234

B. 通信モード TV電話3 (1B)
使用チャネル: 1B
音声 : ADPCM
画像 : 動き重視

[発信]

0123456789/1234

TV電話3 (1B)

自分画像

[TV電話]

通話:
0123456789/1234

00-01

自分画像

ワンタッチダイヤルの内容を確認
だけしたいときは

ほかの [ワンタッチ] A～J または
[消去] を押します。

電話番号を変更して発信するときは

ダイヤルを入力すると、番号を後ろ
に追加できます。

[訂正] を押すと、番号1桁を入力最終
桁から取り消します。

通信モードを変更したいときは

●音声電話をかけるときは、[音声] を
押します。

●TV電話をかけるときは、[画像] を
押します。

●TV電話の通信モードは、通信モード
の設定 (3-22 ページ) で設定
された通信モードになります。

ほかの [ワンタッチ] (A)～(J)
を押すと、[音声] や [画像] を押した
ことは無効になります。

ハンドセットを上げないで電話を
かけるときは

[発信] か [スピーカ] を押してくださ
い。

通話時間の表示を消す/出す
ときは

通話中に [消去] を押してください。
TV電話のときは、相手先の電話番号
も同時に消したり出したりします。

最後にダイヤルした相手を 再度呼び出すとき

再ダイヤル

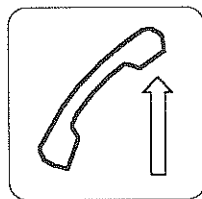
1

再ダイヤル を押します。



2

ハンドセットを上げます。



3

相手が出たらお話しします。

[再ダイヤル確認]

A. 電話番号
0123456789/1234

B. 通信モード TV電話4 (任意)
使用チャネル: 2 B
音声 : ADPCM
画像 : 動き重視

[発信]

0123456789/1234

TV電話4 (任意)

自分画像

[TV電話]

通話:
0123456789/1234

00-01

自分画像

電話番号を変更したいときは

ダイヤルを入力すると、番号を後ろに追加できます。

[訂正] を押すと、番号1桁を入力最終桁から取り消します。

通信モードを変更したいときは

- 音声電話をかけるときは、**[音声]** を押します。
- TV電話をかけるときは、**[画像]** を押します。TV電話の通信モードは、通信モードの設定 (3-22ページ) で設定された通信モードになります。
- もう一度 **[再ダイヤル]** を押すと音声や画像ボタンを押したことは無効になり、元の通信モードに戻ります。

再ダイヤルの内容を消去するには

[消去] を押します。

ハンドセットを上げないで電話をかけるときは

[発信] か **[スピーカ]** を押してください。

間違って再ダイヤルの内容を消去したときは

発信記録の第1件目に再ダイヤルの内容が記録されています。発信記録を使って電話をかけてください。
(3-24ページ)

通話時間の表示を消す/出すときは

通話中に **[消去]** を押してください。
TV電話のときは、相手先の電話番号も同時に消したり出したりします。

電話を受けるとき

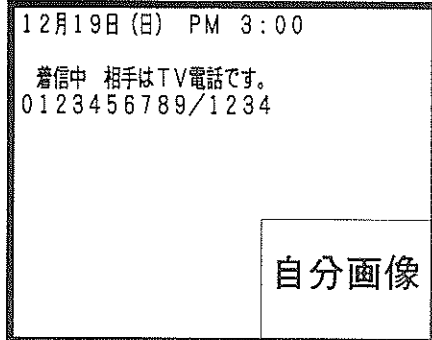
普通に受ける

1

呼出音（メロディ）が鳴り、着信ランプが点滅します。

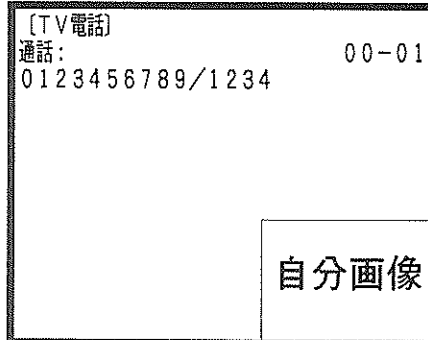
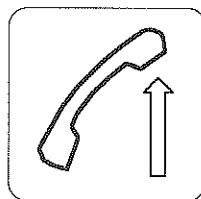


子画面が出ます。（自分の画像が映ります。）



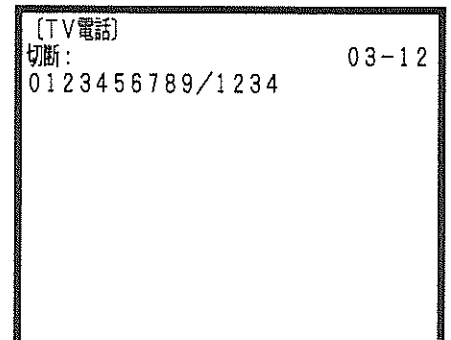
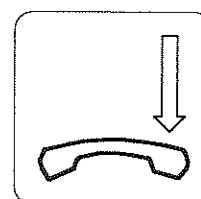
2

ハンドセットを上げて、相手とお話します。



3

お話を終わるときは、ハンドセットを戻します。



相手の電話番号は表示されないこともあります。着信音量切替スイッチが「切」のときは呼出音は鳴りません。

相手が音声電話のときは

呼出音はリンガが鳴ります。画面には「相手は音声電話です」と出ます。

	呼出音	着信ランプ
音声電話	リンガ音	赤点滅
TV電話	メロディ音	緑点滅

自分の画像を送らずに電話を受けるときは

ハンドセットを上げる前に **画像** を押します。画像ランプが点滅します。

相手の画像が映らないときは

音声のみの電話か、または相手から画像が送られていません。相手に確認してください。

相手画像がなかなか表示されないときは

相手に確認してください。
通信モードの変更（3-12ページ）は、電話をかけてきた相手側で行います。

送られていなかった自分の画像を送るときは

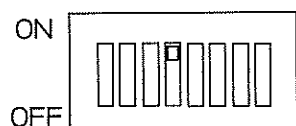
画像 を押します。画像ランプが点灯し、相手に自分の画像が送られます。

自分の画像を送らないで TV電話を受けるとき

自動送信ミュート

1

ディップスイッチ（底面）の自動送信ミュートスイッチをONに設定します。



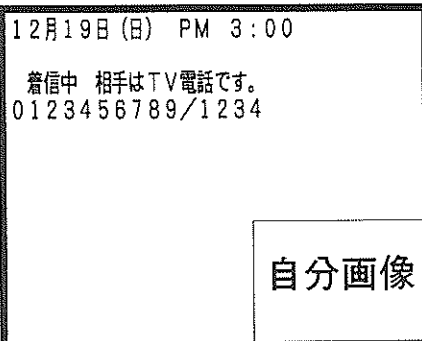
自動送信ミュート

2

呼出音（メロディ）が鳴り、着信ランプが点滅します。

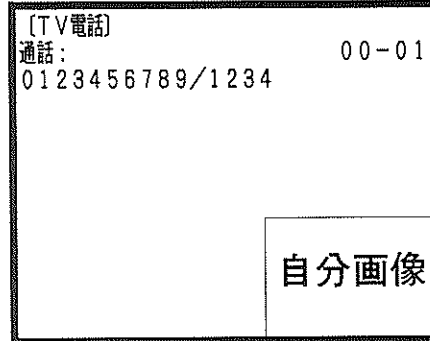
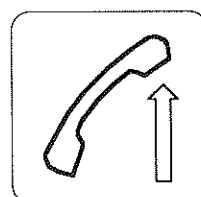


画像ランプが点滅します。



3

ハンドセットを上げます。



ご注意

送信ミュート設定中は、自分の子画面に自分の画像が表示されていますが、相手に対しては画像を送りません。画像ランプが点滅しています。

途中で画像の送信を始めるときは

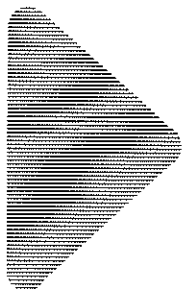
画像を押します。画像ランプが点滅から点灯にかわります。

12月19日(日) PM 3:00

[自動送信ミュート]

待機画面に「自動送信ミュート」と表示されます。

着信音量切替スイッチが「切」のときは呼出音は鳴りません。子画面が出ます。(子画面内に自分の画像が映ります。)

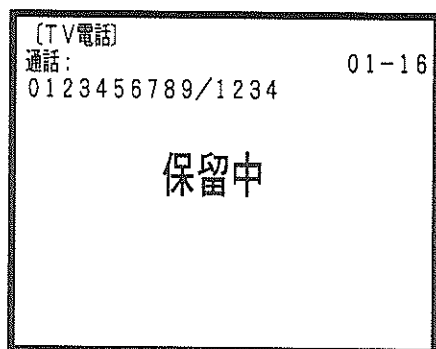
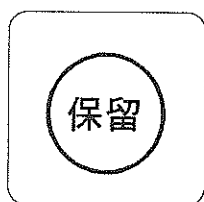


通話中に相手に待っていただくとき

保留

1

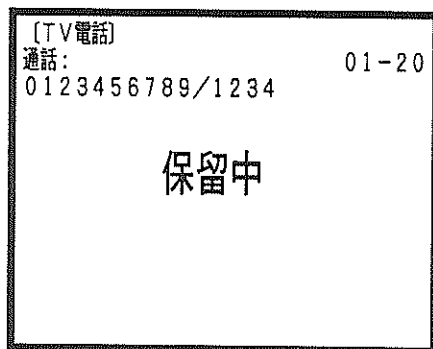
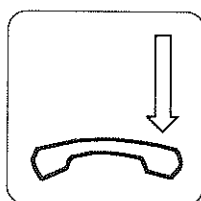
通話中に **保留** を押します。



保留ランプが点滅し、メロディが聞こえます。
相手にもメロディが聞こえます。

2

ハンドセットを戻します。

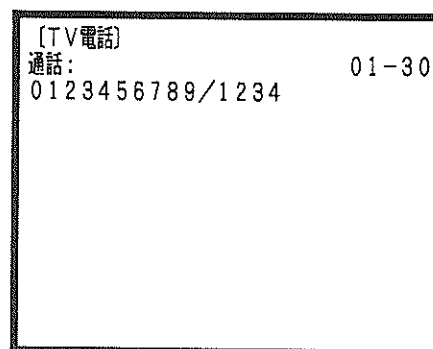
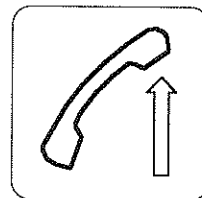


相手のテレビ電話では、画像が止まったままになります。

3

再び話すときは、ハンドセットを上げます。

ハンドセットを戻さなかったときは、もう一度 **保留** を押します。



保留ランプが点滅から消灯にかわります。

第3章 より便利にお使いいただくために

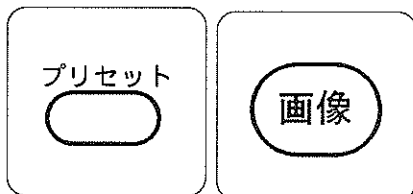
- (発信) 電話番号を確かめながら電話をかけるとき.....プリセットダイヤル....3-2
電話帳から選んで電話をかけるとき.....電話帳ダイヤル....3-3
- (着信) 電話帳に登録した相手からの着信を呼出音で聞き分けるとき.....識別着信....3-4
電話帳に登録していない相手からの着信を受けたくないとき.....着信拒否....3-5
- (通信) 相手に自分の声を聞かせないようにするとき.....音声ミュート....3-6
相手に自分の画像を送らないようにするとき.....画像ミュート....3-7
自分の画像と相手の画像を入れかえるとき.....自/相手....3-8
PinP (子画面) を消去するとき.....PinP....3-9
高精細静止画を相手に送るとき.....静/動....3-10
自分の画像を左右反対に見るとき.....鏡/正....3-11
通話中に通信条件を変えるとき.....通信モードの変更....3-12
通話中にPBダイヤルを送出するとき.....PBダイヤル送付....3-14
- (設定) メモリの内容をすべて消去するとき.....全消去....3-15
着信音や保留音の音色を確認するとき.....モニタ....3-16
着信音や保留音の音色を変更するとき.....着信音、保留音....3-17
画面に通話中の経過時間を表示するようにしたいとき.....通話時間表示設定....3-18
自動的に着信させるとき.....TV電話自動着信....3-19
発信者番号を通知しないでダイヤルするとき.....発信者番号通知なしダイヤル....3-20
- (登録) 通信条件を設定するとき.....通信モードの設定....3-22
- (確認) 最近かけた電話の記録を確認するとき.....発信記録....3-24
最近かかってきた電話の記録を確認するとき.....着信記録....3-25
累積料金を確認するとき.....累積料金....3-26

電話番号を確かめながら 電話をかけるとき

プリセットダイヤル

1

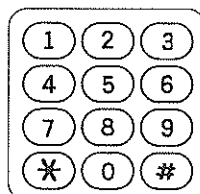
プリセット、**画像** の順に押します。



画像ランプが点灯します。

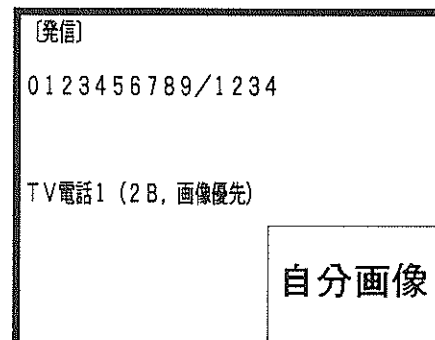
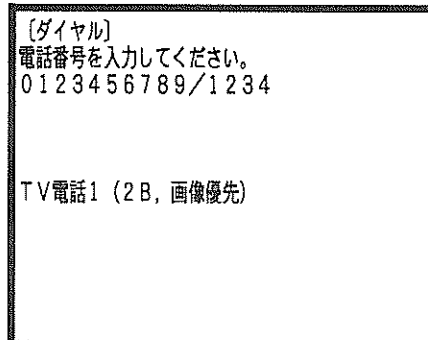
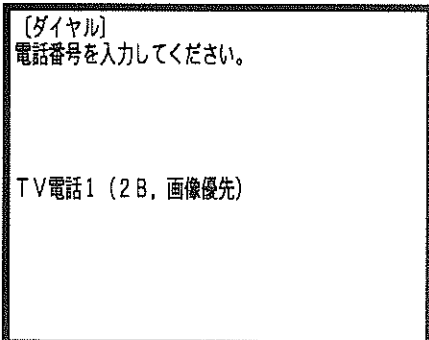
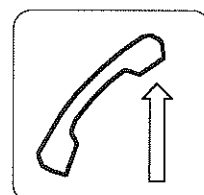
2

電話番号を確かめながらダイヤルします。



3

ハンドセットを上げます。



音声電話をかけるときは

画像 を押す必要はありません。

TV電話の通信モードは

通信モードの設定 (3-22ページ)
で設定された通信モードになります。

電話番号を間違えたときは

訂正 を押すと、直前に入力した番号
1桁を入力最終桁から取り消します。

消去 を押すと、入力した電話番号
全部を取り消します。

サブアドレスを入力するときは

サブアドレス を押してから、サブア
ドレス番号を入力します。

ハンドセットを上げないで電話を かけるときは

発信 か **スピーカ** を押してください。

通話時間の表示を消す／出す ときは

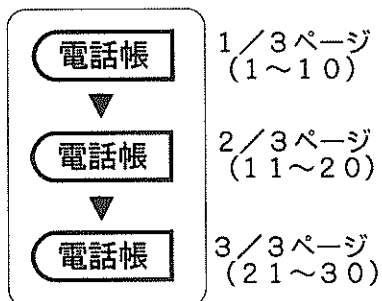
通話中に **消去** を押してください。
TV電話のときは、相手先の電話番
号も同時に消したり出したりします。

電話帳から選んで 電話をかけるとき

電話帳ダイヤル

1

電話帳を押します。



1/3 ページ
(1 ~ 10)

2/3 ページ
(11 ~ 20)

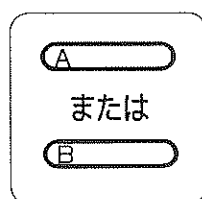
3/3 ページ
(21 ~ 30)

[電話帳]	1/3
1 キカク	6
2 エイギョウ	7
3 カイハツ	8*****
4 ソウム	9
5	10
(登録内容)	
0123456789/1234	
TV電話1 (2B, 画像優先)	
↓	↑
登録	

A B C D E

2

↓ (A) または ↑ (B) を押してカーソル表示を、電話をかけた番号に合わせます。

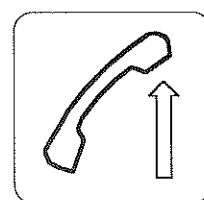


[電話帳]	1/3
1 キカク	6
2 エイギョウ	7
3 カイハツ	8*****
4 ソウム	9
5	10
(登録内容)	
0123456789/1234	
TV電話1 (2B, 画像優先)	
↓	↑
登録	

A B C D E

3

ハンドセットを上げます。



[発信]	
エイギョウ	
0123456789/1234	
TV電話1 (2B, 画像優先)	
	自分画像

電話帳の構成は

電話帳を押すたびに、10 あて先ごとの電話帳を表示します。
3 ページあり、30 あて先分の電話帳になっています。

待機画面に戻るとき

待機画面に戻るまで 電話帳 を押します。

通信モードを変更したいときは

音声電話をかけるときは、音声 を押します。
TV電話をかけるときは、画像 を押します。TV電話の通信モードは、通信モードの設定 (3-22 ページ) で設定された通信モードになります。

ハンドセットを上げないで電話をかけるときは

発信 か スピーカ を押してください。

通話時間の表示を消す/出すときは

通信中に 消去 を押してください。
TV電話のときは、相手先の電話番号も同時に消したり出したりします。

電話帳に登録した相手からの着信を 呼出音で聞き分けるとき

識別着信

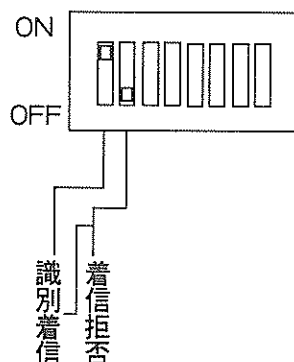
識別着信機能とは

自分の電話帳に登録してある人かどうかで、かかってきた電話の呼出音を変える機能です。

呼出音で相手を聞き分けることができます。

識別着信を使うときは

底面のディップスイッチの識別着信をON、着信拒否をOFFにします。



識別着信を設定すると、待機画面に「識別着信：音色」を表示します。

12月19日(日) PM 3:00

〔識別着信：音色〕

呼出音の違いは

		呼出音の鳴り方
TV電話	普通の呼出音	♪♪♪ (メロディ)
	識別着信での呼出音	ルルルル ルル ルルルル ルルの繰り返し
音声電話	普通の呼出音	ルルルル ルルルルの繰り返し
	識別着信での呼出音	ルルルル ルル ルルルル ルルの繰り返し

かけてきた相手の電話番号と、電話帳に登録してある電話番号の照合のしかた

かけてきた相手の電話番号（アドレス／サブアドレス）と、電話帳に登録してある電話番号を照合し、一致とみなしたときだけ、識別着信音での呼出音となります。

- アドレスは、電話番号の後ろから比較して、番号が同じとき一致とします。
ただし、かけてきた相手の電話番号の方が長いときは一致としません。
- サブアドレスは、電話番号が完全に同じとき一致とします。

かけてきた相手の電話番号 アドレス／サブアドレス	照合の条件例：電話番号 アドレス／サブアドレス	呼出音
01234567/123	01234567/123(完全一致)	識別着信音
	01234567 (アドレス一致)	識別着信音
	4567 (相手の方が長く、不一致)	普通の呼出音
	01234567/12 (不一致)	普通の呼出音
	/123 (サブアドレス一致)	識別着信音
	/12 (不一致)	普通の呼出音

アナログ網からかけてきた電話や、相手の電話が発信者番号の通知をしないように設定しているときは、普通の呼出音になります。

(発信者番号通知なしダイヤル 3-20ページ)

電話帳に登録していない相手からの着信を受けたくないとき

着信拒否

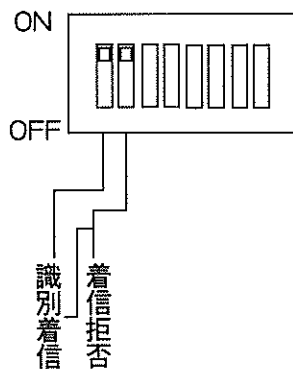
着信拒否機能とは

自分の電話帳に登録してある人から電話がかかってきたときだけ、呼出音を鳴らします。

電話帳に登録していない相手からの電話は、呼出音を鳴らしません。画面への着信表示もしません。

着信拒否を使うときは

底面のディップスイッチの識別着信をON、着信拒否をONにします。



着信拒否を設定すると、待機画面に「識別着信：拒否」を表示します。

12月19日(日) PM 3:00

(識別着信：拒否)

かけてきた相手の電話番号と、電話帳に登録してある電話番号の照合のしかた

かけてきた相手の電話番号（アドレス／サブアドレス）と、電話帳に登録してある電話番号を照合し、一致とみなしたときだけ呼出音が鳴ります。

● アドレスは、電話番号の後ろから比較して、番号が同じとき一致とします。

ただし、かけてきた相手の電話番号の方が長いときは一致としません。

● サブアドレスは、電話番号が完全に同じとき一致とします。

● 多地点テレビ会議のときは、アドレスだけ比較します。サブアドレスの比較はしません。

かけてきた相手の電話番号 アドレス／サブアドレス	照合の条件例：電話番号 アドレス／サブアドレス	動作
01234567/123	01234567/123(完全一致)	呼出音が鳴る
	01234567 (アドレス一致)	呼出音が鳴る
	4567 (相手の方が長く、不一致)	着信しない
	01234567/12 (不一致)	着信しない
	/123 (サブアドレス一致)	呼出音が鳴る
	/12 (不一致)	着信しない

アナログ網からかけてきた電話や、相手の電話が発信者番号の通知をしないように設定しているときは、呼出音を鳴らしません。画面への着信表示もしません。

(発信者番号通知なしダイヤル 3-20ページ)



相手に自分の声を聞かせないようにするとき

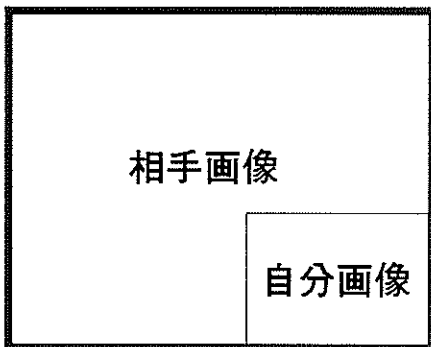
音声ミュート

1

通話中に **音声** を押します。



ランプが点滅します。



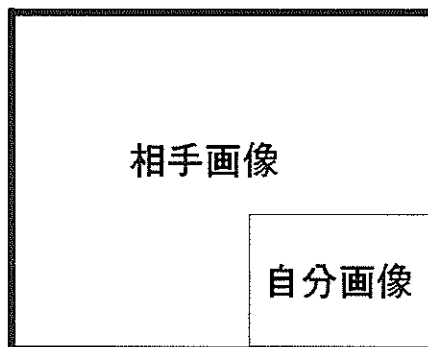
相手には、こちらの音声が入音声がOFFの状態、画像のみ送られています。

2

戻すときは、再度、**音声** を押します。



ランプが点灯します。



通話中に音声ランプが消灯しているときは

音声 ボタンを押しても、無効になります。

相手に自分の画像を送らないようにするとき

画像ミュート

1

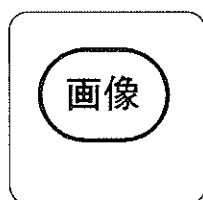
TV電話中に **画像** を押します。



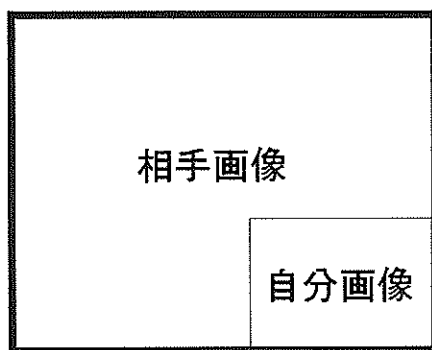
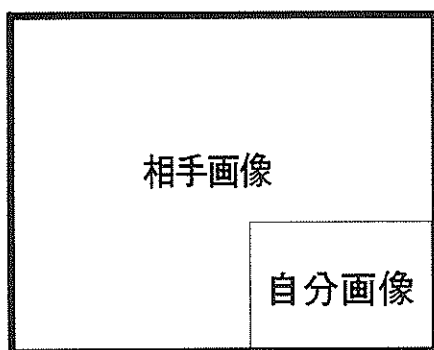
ランプが点滅します。

2

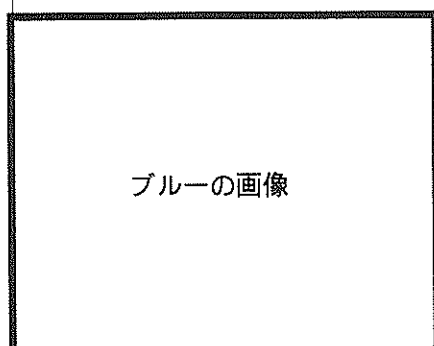
戻すときは、再度、**画像** を押します。



ランプが点灯します。



相手には、画像がOFFの状態で、音声のみ送られています。



相手の画面はもとに戻り、こちらの画像が表示されます。

通話中に画像ランプが消灯しているときは

画像 ボタンを押しても、無効になります。

自分の画像と相手の画像を 入れかえるとき

自／相手

1

TV電話中に **機能** を押します。

機能

2

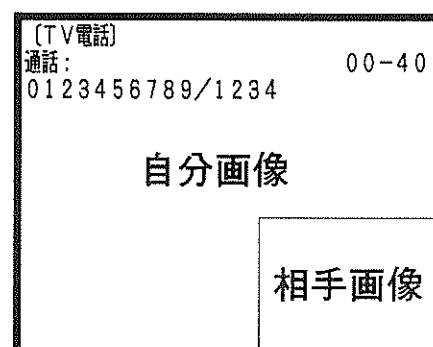
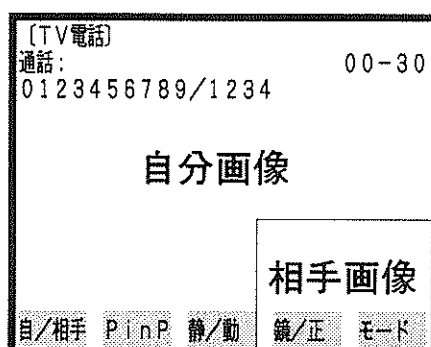
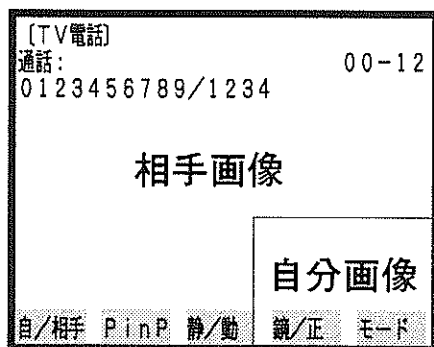
自／相手 (A) を押します。

A

3

機能 を押します。

機能



元に戻すときは

もう一度 **自／相手** (A) を押します。

P i n P (子画面) を 消去するとき

P i n P

1

TV電話中に **機能** を押します。

機能

2

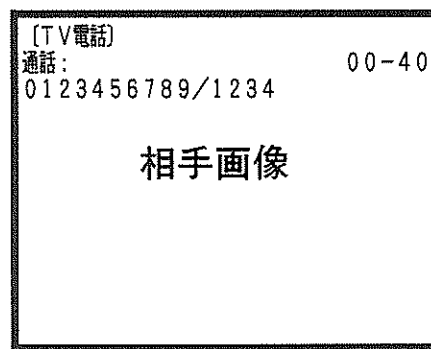
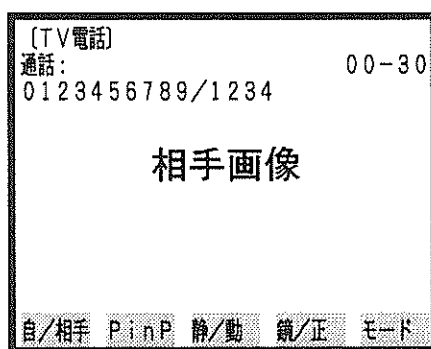
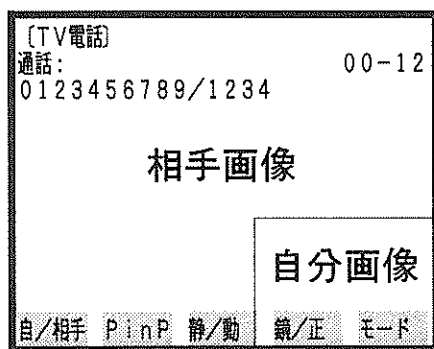
P i n P (B) を押します。

B

3

機能 を押します。

機能



元に戻すときは

もう一度 **P i n P** (B) を押します。

相手画像の表示を取り消すときは

自/相手 (A) を押して、子画面に
相手画像を表示してから **P i n P**
(B) を押します。

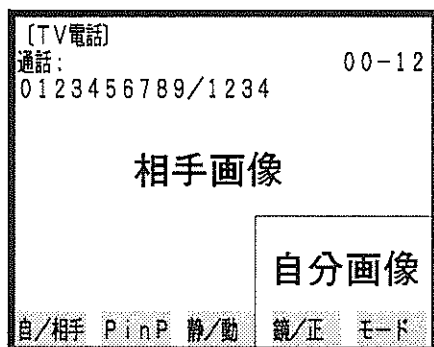
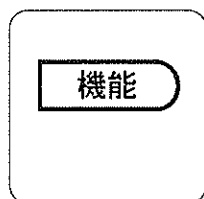
高精細静止画を相手に送るとき

静／動

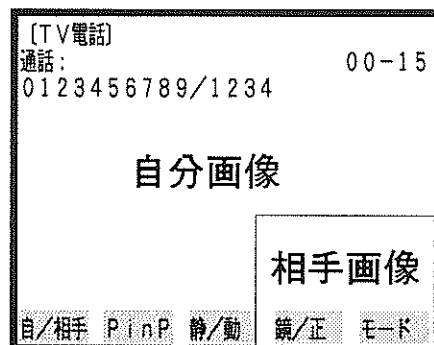
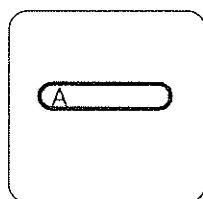
高精細静止画は、相手の電話がP I C S E N D - R または P I C S E N D - C のとき、送ることができます。

1

① TV電話中に **機能** を押します。



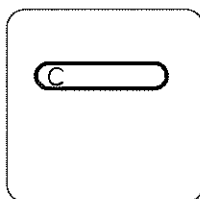
② **自/相手** (A) を押します。



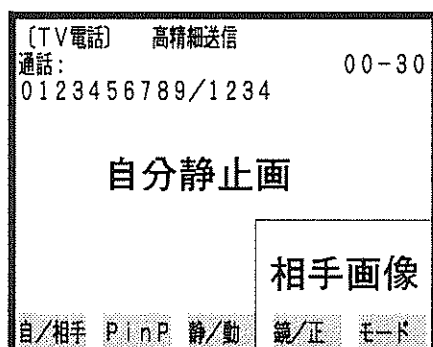
親画面に自分画像を映すと見やすくなります。

2

静／動 (C) を押します。



高精細の静止画を相手に送信します。(約十数秒かかります)



- 高精細静止画を送信すると、全面に自分静止画が表示されます。
- 子画面表示をしていた場合、高精細静止画を送信している約十数秒の間は、子画面は消去されます。送信終了後、再び相手画像の子画面が表示されます。

元の動画に戻すときは

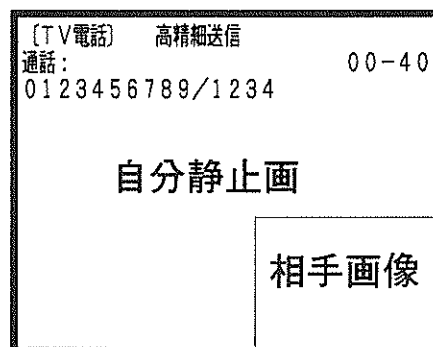
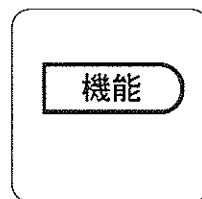
もう一度、**静／動** (C) を押します。

受信側では高精細静止画を受信すると

自動的に今まで見ていた画面を高精細静止画の受信に切り替えて、順次画面の上方より受信した静止画を表示します。元の動画に戻すときは、**静／動** (C) を押します。

3

機能 を押します。



高精細静止画を送受信中は

次の静止画を送ることはできません。

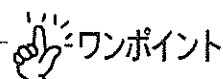
高精細静止画を送れないときは

通常の静止画送信になります。

元の動画送信に戻すときは、**静／動** (C) を押します。

再度静止画を送信するときは

一度、**静／動** (C) を押して、元の画像に戻してから、再度、送信操作をしてください。



子画面に受信動画を表示させるには、高精細静止画を表示しているときに、**自/相手** (A) を押します。

自分の画像を左右反対に見るとき

鏡／正

1

TV電話中に **機能** を押します。

機能

2

鏡／正 (D) を押します。

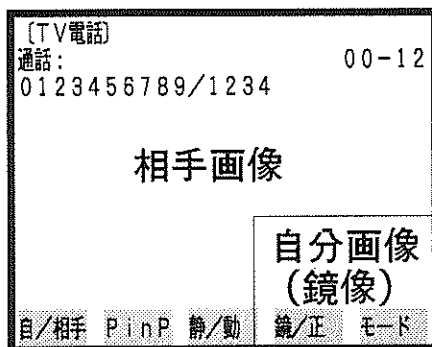
D

3

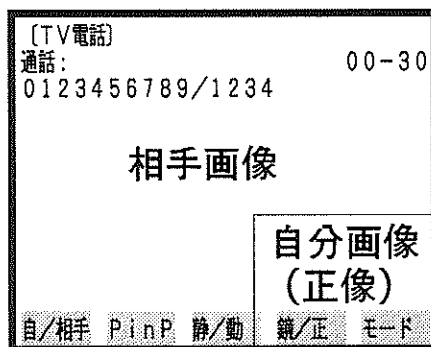
機能 を押します。

機能

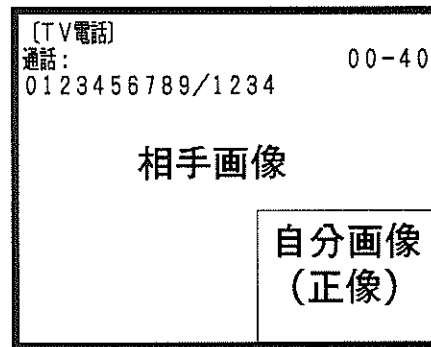
機能名称が消えます。



A B C D E



A B C D E



A B C D E

「鏡像」と「正像」について

- 鏡に映った自分の映像：「鏡像」と、写真に撮った自分の映像：「正像」は、左右が反対になります。
- 相手が見る自分は「正像」が自然なので、相手動画は「正像」です。
- 一方、自画像を自分で見る場合は、「鏡像」のほうが見なれており、自然な感じに見えるので、本装置についているカメラで映した自画像は「鏡像」にしています。
- この機能は、自画面についてのみの機能で、相手に送信している画像は「正像」のまま変わりません。

元の「鏡像」に戻すときは

もう一度、**鏡／正** (D) を押します。

そのほか

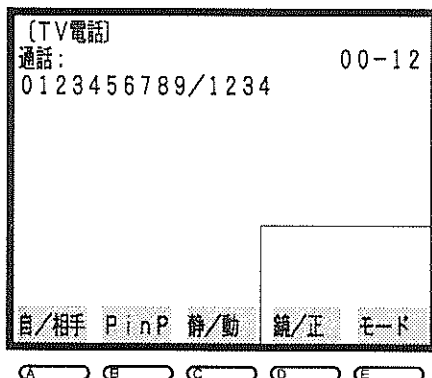
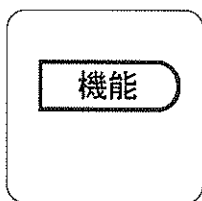
自分画像がモニタに表示されていないときでも、**鏡／正** (D) は、有効になっています。

通話中に 通信条件を変えるとき

通信モードの変更

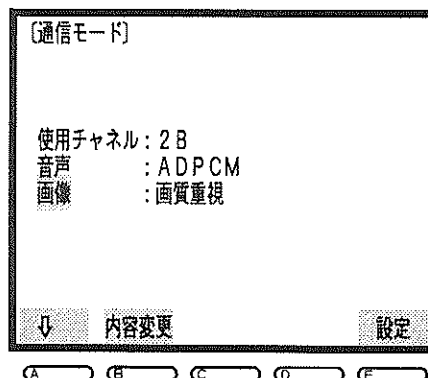
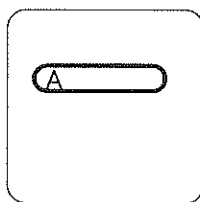
1

① 通話中に **機能** を押します。



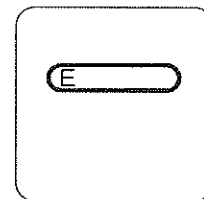
2

① **↓** (A) を押して、内容を変更したい項目にカーソルを合わせます。

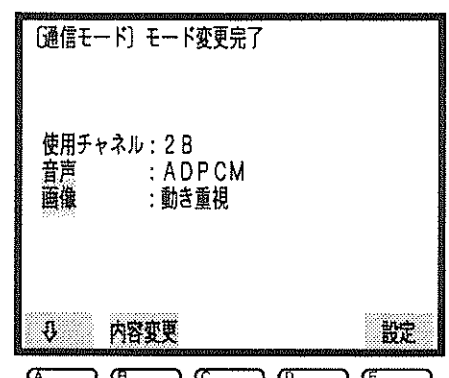


3

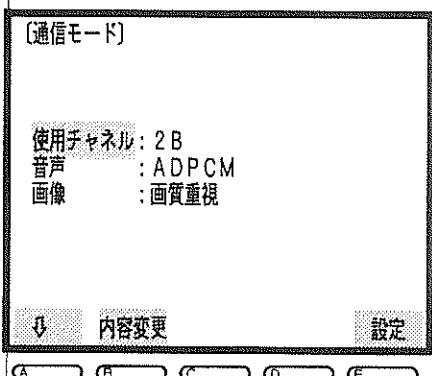
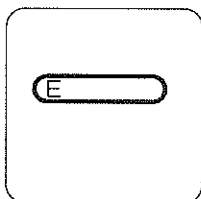
設定 (E) を押します。



モード変更完了と表示されます。

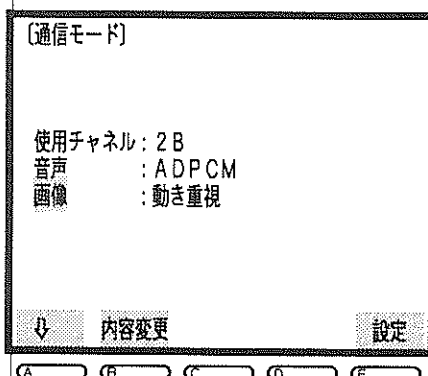
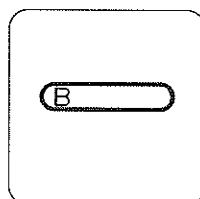


② **モード** (E) を押します。



現在、相手に送っている通信モードを表示します。

② **内容変更** (B) を押して変更します。



上記の例は、**画像** の「画質重視」を、「動き重視」に変更しました。

モード変更できないときは

通信モードの選び方や、相手の電話機によっては変更できないことがあります。そのときは、

モード変更できませんでした と表示されます。

通信モードを終わるときは

待機画面に戻るまで **機能** を押します。

通信モードの内容について

使用チャネル

1 B から 2 B へ、または 1 B (制限網) から 2 B (制限網) への変更ができます。
発信側でのみ操作可能です。

1 B、 1 B (制限網)	INSネット64の1チャネルだけを使用するエコノミーモードです。 音声はPCMのときに、音声と画像の両方を送ると、画像の動きが非常に遅くなります。そのときは、2 B または 2 B (制限網) に変更してください。
2 B、 2 B (制限網)	画像の動きをよくしたいとき、このモードに変更します。

ワンポイント

1 B (制限網) と 2 B (制限網) は、海外の相手と通話する場合で次のとき使います。

- ①アメリカの一部、カナダの一部など 5.6 kbit/s の回線に接続されている相手と通話するとき
- ②1 B や 2 B の設定で通話できないとき

音声

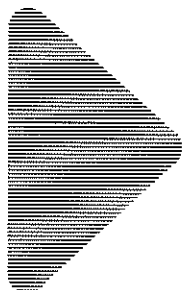
音声は、通話中に変更できません。別の設定で通話したいときは、一度電話を切って希望する通信モードに設定してから、電話をかけ直してください。

ADPCM	PICSENDER 独自の高性能信号方式で音声を送ります。その分画像の動きがよくなります。
PCM	国際標準の方式で送ります。相手の電話機が PICSENDER、PICSENDER-C のどちらでもないときは、自動的にこのモードになります。
OFF	音声は相手に送られていません。

画像

内容変更 (B) を押すごとに、次のように変更できます。

画質重視	画質の細かさを重視した画像を送ります。
動き重視	動きのなめらかさを重視した画像を送ります。
OFF	画像を送らないときは、このモードにします。

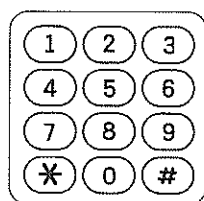


通話中にPBダイヤルを送出するとき

PBダイヤル送付

1

通話中にダイヤルを押します。



[TV電話]	
通話:	00-12
0123456789/1234	
PB:123456789	

- ダイヤルボタンを押している間、PB信号が送出されます。
- **消去** を押すか、約20秒たつと、PBの表示は消えます。
- ワンタッチボタンや、再ダイヤルボタンを押しても、PBダイヤルは送出されません。
- **機能** や **電話帳** を押している（画面下部に機能名称が表示されている）ときは、PBダイヤルを送出することはできません。

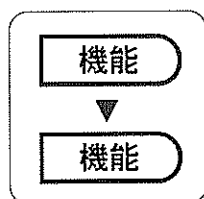
メモリの内容をすべて消去するとき

全消去

※下記画面内の全項目について、登録・記録してある内容をすべて消去します。

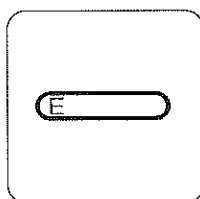
1

機能 を2回押します。



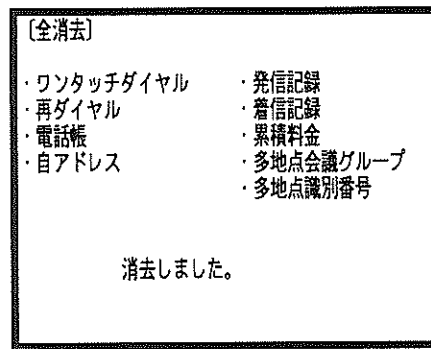
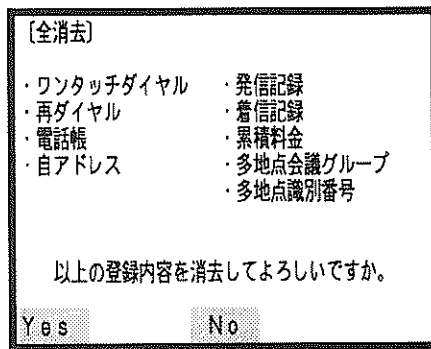
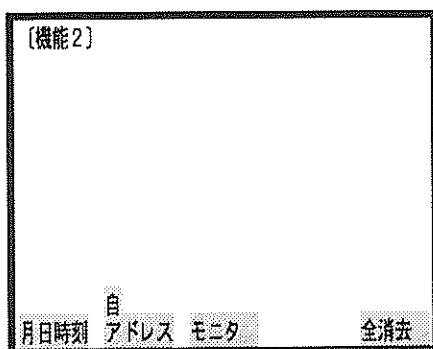
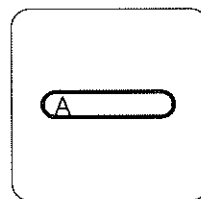
2

全消去 (E) を押します。



3

Yes (A) を押します。



全消去しないときは

No (C) を押します。
前の画面に戻ります。

終了で元に戻るときは

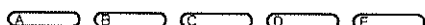
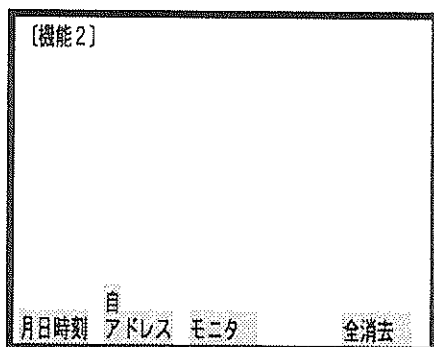
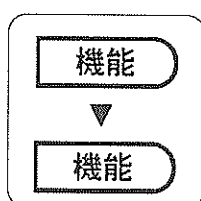
待機画面に戻るまで、**機能** を押します。

着信音や保留音の 音色を確認するとき

モニタ

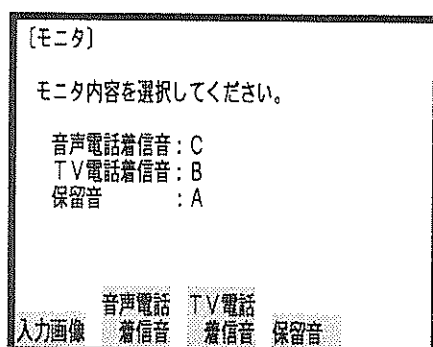
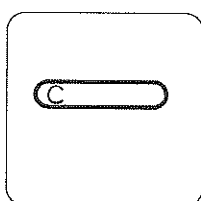
1

機能 を2回押します。



2

モニタ (C) を押します。



表示の内容は

現在設定されている音色を示します。

入力画像 (A) を押すと

映像入力切替スイッチの設定により、以下の内容をモニタできます。

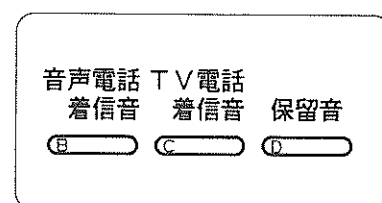
内部：内蔵カメラの映像

外部：外部機器からの映像

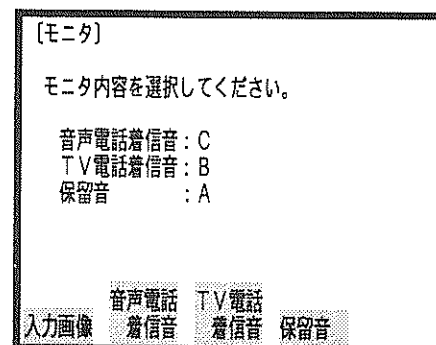
音声については、音声入力切替スイッチの設定にかかわらず、外部機器からの音声モニタになります。

3

確認したい項目を選んでボタンを押します。



スピーカから、メロディが聞こえます。



確認を終わるときは

同じボタンを押します。

モニタを終わるときは、待機画面に戻るまで **機能** を押します。

他のメロディを確認するとき

他のボタンを押します。

メロディを変更するとき

音声電話着信音色：右側面のスイッチによります。(3-17ページ)

TV電話着信メロディ：底面のディップスイッチによります。

(3-17ページ)

保留メロディ：底面のディップスイッチによります。(3-17ページ)

音色を確認しながら設定を変更することができます。

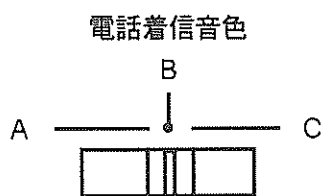
着信音や保留音の 音色を変更するとき

着信音、保留音

音声電話着信音色を設定するときは

電話着信音色切替スイッチ（右側面）で、3種類の中から選んで設定します。

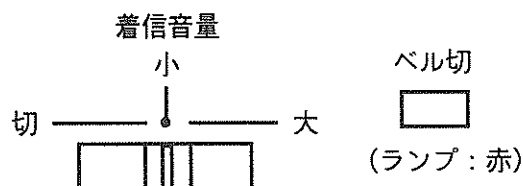
	電話着信音色
A	明るい音色で速い感じ
B	普通の音色で速い感じ
C	落ち着いた音色で遅い感じ



着信音量を設定するときは

着信音量切替スイッチ（右側面）で、「切」「小」「大」の中から選んで設定します。
「切」に設定した時、**ベル切**ランプ（操作面）が点灯します。
「切」にしても、電話がかかってきた時、着信ランプの点滅と、画面への着信表示で、着信したことが分かります。

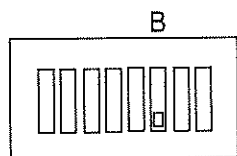
※TV電話自動着信を設定しているときは、TV電話自動着信（3-19ページ）のスイッチの設定（3）を参照してください。



TV電話着信メロディを設定するときは

ディップスイッチ（底面）で、2種類の中から選んで設定します。

	TV電話着信音(メロディ)
A	メロディ・フェア
B	レット・イット・ビー



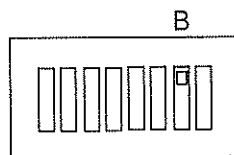
TV電話着信メロディ

※TV電話自動着信を設定しているときは、TV電話自動着信（3-19ページ）のスイッチの設定（3）を参照してください。

保留メロディを設定するときは

ディップスイッチ（底面）で、2種類の中から選んで設定します。

	保留音(メロディ)
A	メロディ・フェア
B	レット・イット・ビー



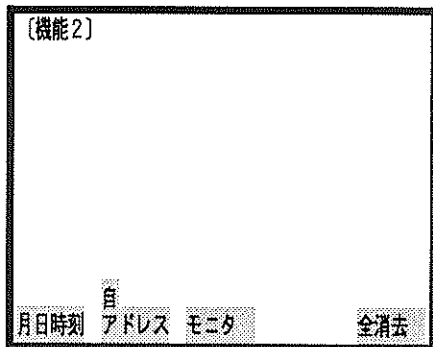
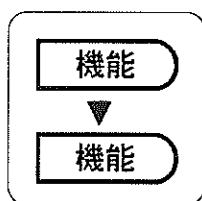
保留メロディ

画面に通話中の経過時間を表示するようにしたいとき

通話時間表示設定

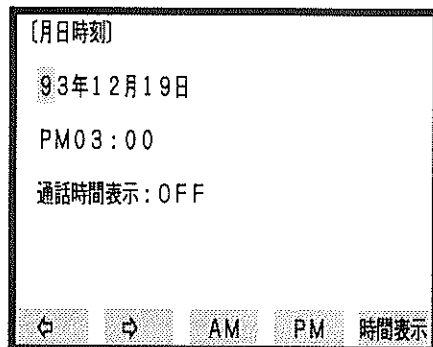
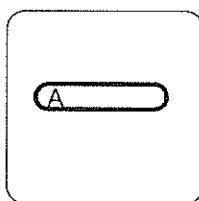
1

機能 を2回押します。



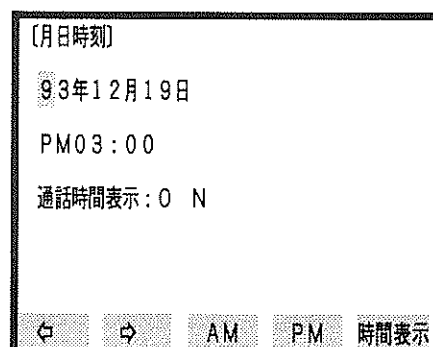
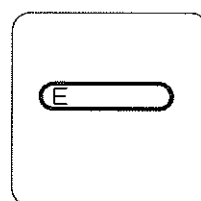
2

月日時刻 (A) を押します。



3

時間表示 (E) を押すたびに、通話時間表示の内容が変わります。



ワンポイント

通話中は、**消去** を押すたびに通話時間を消したり出したりできます。

入力

ON	通話開始時に時間表示を出す
OFF	通話開始時に時間表示を消す

通話中は、**消去** を押すたびに通話時間表示を消したり出したりします。

終了で元に戻るときは

機能 を1回押すと、表示されている内容を設定します。
さらに **機能** を1回押すと、待機画面に戻ります。

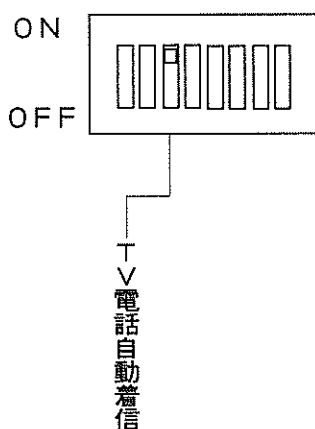
自動的に着信させるとき

TV電話自動着信

※ルームモニタや遠隔監視など、無人運用に利用できます。

スイッチの設定 (1)

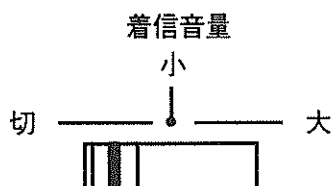
底面にある「TV電話自動着信」スイッチを「ON」にします。



スイッチの設定 (2)

右側面にある「着信音量」切替スイッチを「切」にします。

電話がかかると、呼出音が鳴らずに、すぐに自動応答します。



1

TV電話の通信モードで電話がかかってきたとき、ハンドセットを上げたり、**スピーカ**を押したりしなくても、自動的に応答状態になります。

TV電話を通して、カメラに映る範囲の状況を画像で確認できます。

12月19日 (日) PM 3:00

[TV電話自動着信]

「着信拒否」や「自アドレス/自サブアドレス」の併用

誤って、この電話機の所有者、使用者以外からの着信を受けないように、「着信拒否」(3-5ページ)や「自アドレス/自サブアドレスの登録」(1-6ページ)の機能を合わせて登録してください。

呼出音を鳴らしたいときは

右側面にある着信音量切替スイッチを「小」か「大」にします。

TV電話がかかると、呼出メロディが約10秒間鳴ったあと、自動応答します。

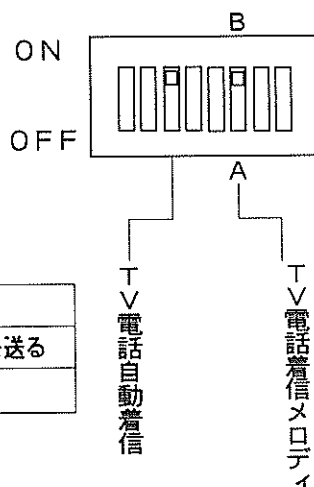
スイッチの設定 (3)

TV電話で自動着信したとき、画像のみを送る（音声を送らない）ように設定できます。

音声を送らない分、きれいな画像で遠隔監視できます。

「着信音量」切替スイッチを「切」の状態ですらに次のように設定します。

TV電話着信メロディスイッチ	動作
A	画像と音声の両方を送る
B	画像のみを送る



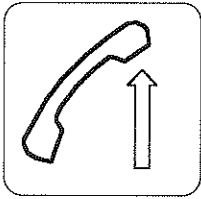
発信者番号を通知しないで ダイヤルするとき

発信者番号通知なしダイヤル

※発信者番号（自アドレス／自サブアドレス）の通知なしでダイヤルするとき

1

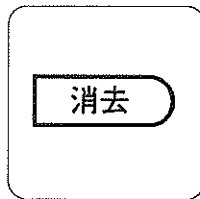
ハンドセットを上げます。



発信音（ツーという連続音）
を確認します。

2

消去 を押します。



3

画像 を押します。



〔ダイヤル〕
電話番号を入力してください。

音声電話

〔ダイヤル〕 発信者番号通知なし
電話番号を入力してください。

音声電話

〔ダイヤル〕 発信者番号通知なし
電話番号を入力してください。

TV電話1（2B、画像優先）

プリセットダイヤル、オンフック ダイヤルをするときは

プリセットダイヤル、オンフックダイヤルで電話をかけたいときは、ダイヤル入力なしの状態で、**消去** ボタンを押してください。

発信者番号通知なしダイヤルを 取り消すときは

もう一度、**消去** ボタンを押してください。

画像ボタンを押さないと

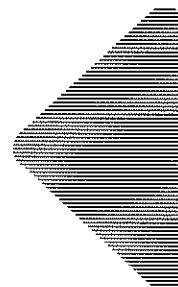
音声電話として接続されます。
音声電話の条件で回線を接続してしまうと、画像ボタンを押しても画像を送ることはできませんので、電話をかけなおしてください。



ワンポイント

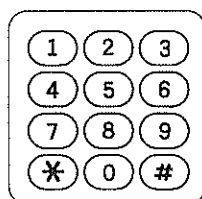
● 発信者番号通知なしダイヤルについて

発信者の番号（自アドレス／自サブアドレス）を相手先へ通知するかどうかは、NTTとの契約のときに選ぶことができます。（発信者番号通知サービス）
この機能を使うと、「呼毎通知許可」という条件で契約をした場合でも、相手先へ番号を通知しないで電話をかけることができます。この操作は、1回の通話で解除されるので、その都度操作が必要です。



4

電話番号をダイヤルします。



5

発信 ボタンを押します。



6

相手が出たらお話しします。

[ダイヤル] 発信者番号通知なし
電話番号を入力してください。
0123456789/1234

TV電話1 (2B, 画像優先)

[発信] 発信者番号通知なし
0123456789/1234

TV電話1 (2B, 画像優先)

自分画像

[TV電話]
通話: 00-01
0123456789/1234

自分画像

電話番号を間違えたときは

訂正 を押すと、直前に入力した番号
1桁を入力最終桁から取り消します。

消去 を押すと、入力した電話番号
全部を取り消します。

サブアドレスを入力するときは

サブアドレス を押してから、サブア
ドレス番号を入力します。

発信 を押さないまま4秒たつと

自動的に発信します。

通話時間の表示を消す／出す ときは

お話し中に **消去** を押してください。
TV電話のときは、相手先の電話番
号も同時に消したり出したりします。

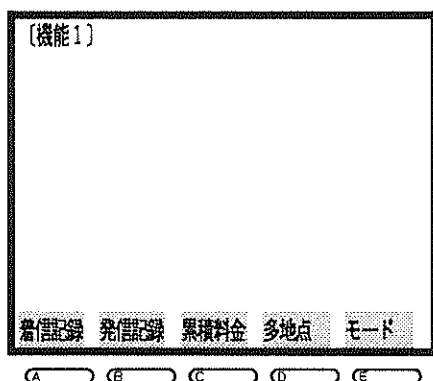
通信条件を設定するとき

通信モードの設定

1

電話を使っていないとき、**機能**を押します。

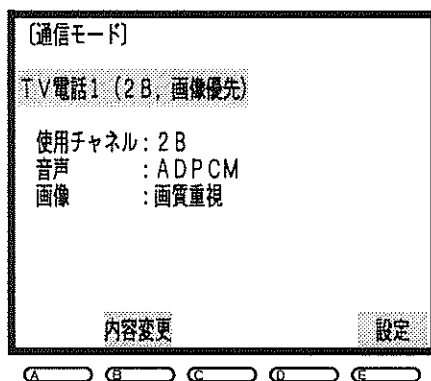
機能



2

モード (E) を押します。

E

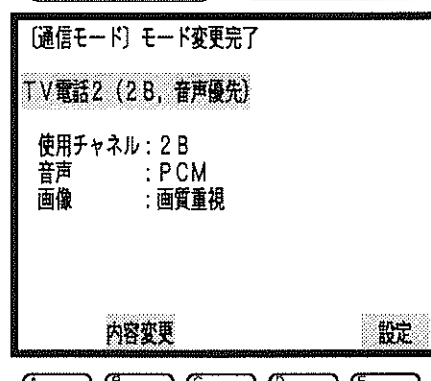


3

内容変更 (B) を押します。
右ページを参照して、通信モードを変更します。
その後、**設定** (E) を押します。

B

E



通信モードとは

音声や画像を相手に送るときに方式や条件をいいます。

TV電話をかけるときに、**画像** ボタンを押すと、ここで設定された通信モードになります。

相手の電話機によっては、ここで設定した通信モードで通話できないことがあります。そのときは、相手の電話機に合った通信モードに自動変更されます。

通信モードを終わるときは

待機画面に戻るまで **機能** を押します。

それぞれの通信モードの特長は

内容変更 (B) を押すごとに、以下のような通信モードに変更できます。

TV電話1…画像優先

PICSEND-R独自の高能率信号方式で、音声を送ります。そのためきれいな画像を送ることができます。

— 1 B — | — 2 B —
2 B 音声:19% 画像:81%
画像優先

TV電話2…音声優先

音声、画像とも国際標準の方式で送ります。

— 1 B — | — 2 B —
2 B 音声:44% 画像:56%
音声優先

TV電話3…1 B

このモードで電話をかけると、INSネット64の1チャンネル:1 Bだけ使います。電話料金が通常の電話と同じで済むエコノミーモードです。

相手がPICSEND-Rまたは
PICSEND-Cのとき

— 1 B —
1 B 音声 画像 音声:38%
ADPCM 画像:62%

相手がPICSEND-R、PICSEND-C
のどちらでもないとき

— 1 B —
1 B 音声:87% 画像:13%
PCM

(相手がPICSEND-R、PICSEND-C
のどちらでもないときは画像の動き
が非常に遅くなります。TV電話1か、
TV電話2に設定することをおすすめ
します。)

TV電話4…任意

任意モードに設定したいときや、海
外の相手と通話したいとき使用する
モードです。チャンネル、音声、画像
を別々に変更できます。

TV4 (任意) モードで使う方のために

TV電話4では、Aボタンの位置に  が出ます。 (A) を押すごとに使用
チャンネル、音声、画像を選ぶことができます。

使用チャンネル

内容変更 (B) を押すごとに、次のように変更できます。

2 B	通常はこのモードを使用します。
1 B (制限網)	米国など、海外の相手と通話する場合で、2 Bや1 Bの設定で通話 できないときは、このモードに設定します。
2 B (制限網)	
1 B	このモードで電話をかけると、1 SDNを1チャンネルだけ使います。 電話料金が通常の電話と同じで済むエコノミーモードです。 以下のときは画像の動きが非常に遅くなりますので2 B、または 2 B(制限網) に設定することをおすすめします。 ・相手の電話機がPICSEND-R、PICSEND-Cのど ちらでもない場合で、音声と画像を両方送りたいとき。 ・相手の電話機がPICSEND-RまたはPICSEND-Cの 場合で、音声をPCMにして送りたいとき。

音声

内容変更 (B) を押すごとに、次のように変更できます。

ADPCM	PICSEND-R独自の高能率信号方式で送ります。
PCM	国際標準の方式で送ります。
OFF	音声を送らないとき、このモードに設定します。 音声を送らない分、画像の動きが早くなります。

画像

内容変更 (B) を押すごとに、次のように変更できます。

画質重視	画質の細かさを重視した画像を送ります。
動き重視	動きのなめらかさを重視した画像を送ります。
OFF	画像を送らないときは、このモードにします。

最近かけた電話の記録を確認するとき

発信記録

1

機能 を押します。

機能

[機能1]

発信記録 発信記録 累積料金 多地点 モード

A B C D E

2

発信記録 (B) を押します。

↓ (A) または ↑ (B) で、
目的の発信記録を指定します。

B

A

または

B

[発信記録]

1: 20日 AM10:00 キカク
2: 19日 PM 3:00 0123456789
3: 18日 AM 9:35 0123456789
4:
5:
(記録内容)
0123456789/1234

TV電話3 応答有 40円

↓ ↑

A B C D E

3

指定した相手に電話をかけたい
とき、ハンドセットを上げます。



[発信]

0123456789/1234

TV電話3 (1B)

自分画像

A B C D E

記録表示の内容は

- 最近かけた電話の5回分の発信記録を確認できます。
- かけた相手の名前/電話番号: 電話帳を使ってかけた相手は名前を表示し、その他の相手は電話番号の頭10桁を表示します。
- 記録内容には、電話番号全桁、通信モード、相手の応答の有無、電話料金を表示します。

発信記録の内容を消去するときは

番号を指定した状態で **消去** を押します。

発信記録の表示を終わるときは

待機画面に戻るまで **機能** を押します。

通信モードは

記録されている通信モードになります。

通信モードを変更するときは

音声電話をかけるときは **音声** を押します。

TV電話をかけるときは **画像** を押します。TV電話の通信モードは、「通信モードの設定」(3-22ページ) で設定された通信モードになります。

電話番号を変更するときは

ダイヤル番号を入力すると、番号を後ろに追加できます。

訂正 を押すと、番号1桁を入力最終桁から取り消します。

その他

多地点テレビ会議の発信は記録されません。

最近かかってきた電話の 記録を確認するとき

着信記録

1

機能 を押します。

機能

2

着信記録 (A) を押します。

↓ (A) または へ (B) で、
目的の着信記録を指定します。

A

A

または

B

3

指定した相手に電話をかけたい
とき、ハンドセットを上げます。



[機能1]

着信記録 発信記録 累積料金 多地点 モード

[着信記録]

1:20日 AM10:00 ハンバイ
2:19日 PM 3:00 0123456789
3:18日 AM 9:35 0123456789
4:
5:
(記録内容)
0123456789/1234

TV電話1 応答有

↓ へ

[発信]

0123456789/1234

TV電話1 (2B, 画像優先)

記録表示の内容は

- 最近かかってきた電話の5回分の着信記録を確認できます。
- かけてきた相手の名前/電話番号：電話帳に記録している番号と一致した相手は、名前を表示します。その他の相手については、電話番号の頭10桁を表示します。
- 記録内容には、電話番号全桁、通信モード、応答の有無を表示します。

着信記録の内容を消去するときは

番号を指定した状態で **消去** を押します。

着信記録の表示を終わるときは

待機画面に戻るまで **機能** を押します。

通信モードは

記録されている通信モードになります。

通信モードを変更するときは

音声電話をかけるときは **音声** を押します。

TV電話をかけるときは **画像** を押します。TV電話の通信モードは、「通信モードの設定」(3-22ページ) で設定された通信モードになります。

電話番号を変更するときは

ダイヤル番号を入力すると、番号を後ろに追加できます。

訂正 を押すと、番号1桁を入力最終桁から取り消します。

その他

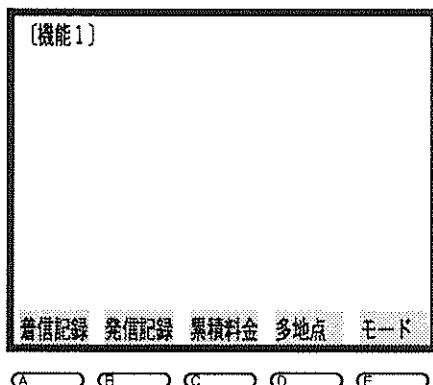
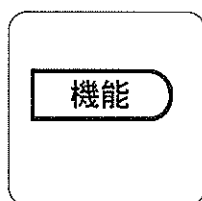
- ① 相手から番号の通知がないときは、電話番号の表示はできません。
- ② 多地点テレビ会議の着信は記録されません。

累積料金を確認するとき

累積料金

1

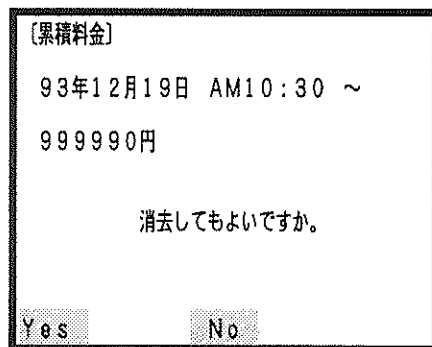
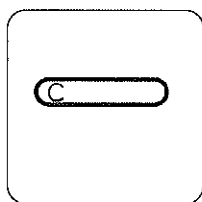
機能 を押します。



A B C D E

2

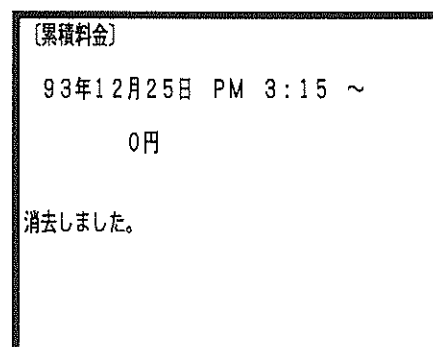
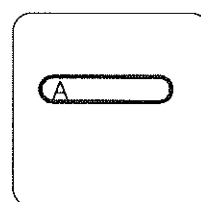
累積料金 (C) を押します。



A B C D E

3

累積料金を消去するときは、
Yes (A) を押します。



A B C D E

記録表示の内容は

累積料金と累積を始めた月日時刻を
表示します。

消去しないときは

No (C) または **機能** を押します。
前の画面に戻ります。

累積料金の表示の桁数は

6桁 (999990円) までです。

スピーカーから消去音 (ピー) が聞こえ、
料金が0円になり、月日時刻は消去を行
った時刻になります。

累積料金表示を終わるときは

待機画面に戻るまで **機能** を押し
ます。

第4章 多地点テレビ会議を行う

- 多地点テレビ会議とは 4-2
- 多地点テレビ会議の準備 スイッチと識別番号の設定....4-5
 - メンバ、グループの登録....4-6
 - 会議状態の設定....4-8
- 多地点テレビ会議を始めるとき 会議の開始....4-10
- 多地点テレビ会議中に会議状態を変更するとき .. 会議状態の変更....4-13
- 1画面表示と4分割画面表示を切り替えるとき .. 画面切替....4-14

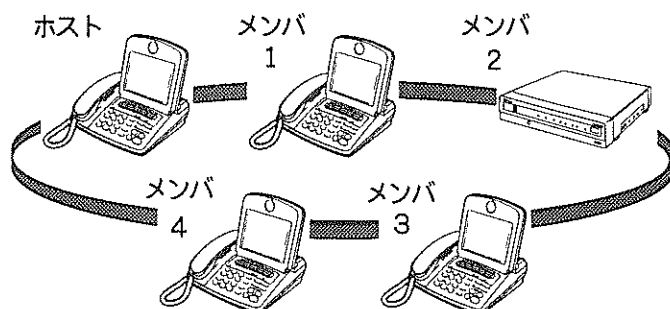
多地点テレビ会議とは

接続のしかた

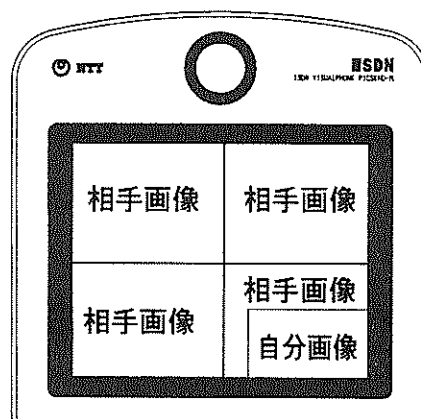
- ISDNビジュアルホン P I C S E N D - R は、3～5 台をリング状に接続することで、複数の地点にいる人が同時に参加する「多地点テレビ会議」ができる装置です。P I C S E N D - C ととも接続できます。P I C S E N D - C をご使用になるときは、P I C S E N D - R の「識別番号」を設定しないでください。識別番号を設定すると P I C S E N D - C との間で、多地点通信ができません。
- テレビ会議では、ホスト端末 1 台と、メンバ端末 2～4 台で 1 グループを構成します。

ホスト端末：会議の開始をする端末をホスト端末といいます。
メンバ端末：会議に参加する端末をメンバ端末といいます。

- ホスト端末、メンバ端末ともに、相手（1～4 端末）の動画を同時に見ながら話せます。また、相手の音声（1～4 端末）を同時に聞くことができます。



- 多地点テレビ会議の接続を正常に行うために、NTTとの契約のときに、「発信者の番号（自アドレス／自サブアドレス）を相手先へ通知する「呼毎通知許可」」を選択してください。



4分割画面に他のメンバの画面が出ます。

ホスト端末

- 多地点テレビ会議の開始をする端末がホスト端末となります。
 - ホスト端末は、あらかじめ多地点テレビ会議のメンバを、グループとして登録しておきます。
 - ホスト端末は、各メンバの画像や音声を他のメンバに見せたり、聞かせたり、あるいはそれらを取り消したりする「会議状態」管理します。また、「4分割画面表示」にしたり「1画面表示」にしたりする「画面切替」の操作をします。
- この「会議状態」は、あらかじめ設定しておくこともできますし、テレビ会議の途中で変更することもできます。

各端末（ホスト端末、メンバ端末）

各端末において、保留、音声ミュート、画像ミュート、P i n P 表示などが個別に操作できます。
（多地点テレビ会議中に保留を押したときは、テレビ会議の妨害を防ぐため、保留音を送りません。）
1画面表示のときは、高精細静止画の送信もできます。

準備

ホスト端末が準備すること

- ディップスイッチの「多地点」がONであることの確認 (4-5 ページ)
- 自アドレス/自サブアドレスの登録 (必ず、市外局番から登録すること) (1-6 ページ)
- 識別番号の設定 (任意) (4-5 ページ)
- メンバ、グループの登録 (4-6 ページ)
- 会議状態の設定 (4-8 ページ)

メンバ端末が準備すること

- ディップスイッチの「多地点」がONであることの確認 (4-5 ページ)
- 識別番号の設定 (任意) (4-5 ページ)

※ 識別番号を設定するときは、ホスト、メンバともに同じ識別番号を設定してください。
もし、識別番号を設定しないで会議を行うときは、ホスト、メンバともに識別番号を消去してください。

会議の開始

ホスト端末

- グループの選択後、発信 (4-10 ページ)
- ハンドセットを上げ、会議開始を押す。 (4-11 ページ)
- 会議状態の変更 (4-13 ページ)
- 画面切替 (4-14 ページ)

メンバ端末

- ホスト端末から、ハンドセットを上げるように指示があったら、ハンドセットを上げる。 (4-11 ページ)
- 会議へ参加、発言

会議の終了

ホスト端末

- ハンドセットを戻す。 (4-12 ページ)

メンバ端末

- 自動切断
- ハンドセットを戻す。 (4-12 ページ)

多地点テレビ会議を始めるまえに

- 多地点テレビ会議を始めるまえに、あらかじめ以下の登録を済ませておいてください。
なお、電話番号の登録は、すべて市外局番から登録してください。

◎：必ず登録してください。
△：必要に応じて登録してください。
－：無関係

項 目	参照ページ	ホスト	メンバ	説 明
自アドレス／自サブアドレスを登録する。	1-6	◎	△	・ホスト端末には、必ず自アドレス／自サブアドレスが必要です。 ・メンバ端末に自アドレス／自サブアドレスを登録するときは、ホスト端末に登録する電話帳の内容（電話番号）と一致させてください。
メンバ端末の電話番号（自アドレス／自サブアドレス）を電話帳に登録する。	1-8	◎	－	・あらかじめ、電話帳にメンバ端末の電話番号を登録しておきます。 この電話帳の内容を用いて、メンバの登録（4-6ページ）をします。
「着信拒否」を設定しているときは、ホストとメンバ端末全員の電話番号を登録する。	1-8	◎	◎	・電話帳に登録しておかないと、自動接続されず、多地点テレビ会議に参加できません。

多地点テレビ会議の準備

スイッチと識別番号の設定

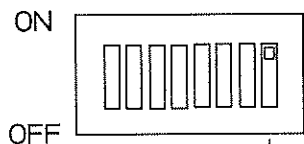
※識別番号は、多地点テレビ会議の誤接続を防ぐために、あるいは悪用による着信を防ぐために利用できます。

識別番号を設定するときは、ホスト、メンバともに同じ識別番号を登録してください。

識別番号を設定しないでテレビ会議を行うときは、ホスト、メンバともに識別番号を消去してください。

1

底面のディップスイッチの
多地点をONに設定します。



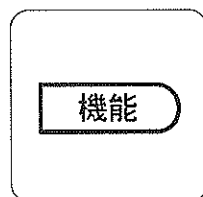
多地点

12月19日 (日) PM 3:00

[多地点]

2

① **機能** を押します。



[機能1]

着信記録 発信記録 累積料金 多地点 モード

A B C D E

② **多地点** (D) を押します。

[多地点通信グループ]

- 1 システムカイギ
- 2 テイレイカイギ
- 3 ギジュツカイギ
- 4 ウソエイカイギ
- 5 *****
- 6 キカクカイギ
- 7
- 8

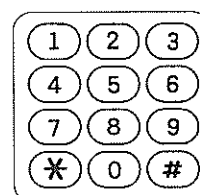
↓ 合 識別番号 メンバ登録 会議状態

A B C D E

③さらに、**識別番号** (C)を押します。

3

ダイヤルで識別番号を入力します。
識別番号は、ホスト、メンバ端末
とも同じ番号にします。



[識別番号]

多地点通信の識別番号を入力してください。
1 2 3 4

識別番号の桁数は

識別番号は、1～4桁までで設定します。

識別番号を間違えたときは

訂正 を押すと、番号1桁を入力最終桁から取り消します。

消去 を押すと、入力した識別番号全部を取り消します。

入力が終わったら

機能 を押すと、表示されている内容を設定します。

さらに待機画面に戻るまで、

機能 を押します。

多地点テレビ会議の準備

メンバ、グループの登録

※ホスト端末でのみ、この操作が必要です。

多地点グループに登録するメンバは、電話帳の中から選びますので、各メンバをあらかじめ電話帳に登録（1～8ページ）しておいてください。

1

① **機能** を押します。

機能

[機能1]

着信記録 発信記録 累積料金 多地点 モード

A B C D E

2

① **↓** (A) および **⇩** (B) を押して、カーソルを登録したい多地点通信グループの番号に合わせます。

A

B

[多地点通信グループ]

1 システムカイギ
2 テイレイカイギ
3 ギジュツカイギ
4 ウンエイカイギ
5 *****
6 キカクカイギ
7
8

↓ ⇩ 識別番号 メンバ登録 会議状態

A B C D E

3

次頁 (B) を押して電話帳のページをめくり、カーソル **↓** (A) で登録したいメンバの番号に合わせます。

A

B

[メンバ登録]: 1/3

1 キカク 6
2 エイギョウ 7
3 カイハツ 8*****
4 ソウム 9
5 10

(登録内容)
0123456789/1234

TV電話1 (2B, 画像優先)

↓ 次頁 登録/削除 グループ名 登録終了

A B C D E

② **多地点** (D) を押します。

[多地点通信グループ]

1 システムカイギ
2 テイレイカイギ
3 ギジュツカイギ
4 ウンエイカイギ
5 *****
6 キカクカイギ
7
8

↓ ⇩ 識別番号 メンバ登録 会議状態

A B C D E

グループ名が登録されていないときは

***** が表示されます。

② **メンバ登録** (D) を押します。

[メンバ登録]: 1/3

1 キカク 6
2 エイギョウ 7
3 カイハツ 8*****
4 ソウム 9
5 10

(登録内容)
0123456789/1234

TV電話1 (2B, 画像優先)

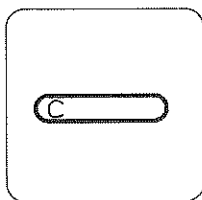
↓ 次頁 登録/削除 グループ名 登録終了

A B C D E

電話帳の1ページ目が表示されます。
1ページに10あて先が入っています。
3ページあり、30あて先分の電話帳になっています。

4

登録/削除 (C) を押します。



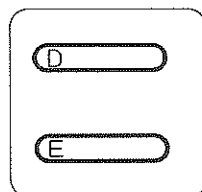
登録されたメンバは **1/3** 表示されます。

[メンバ登録]:		1/3
1	キカク	6
2	エイギョウ	7
3	カイハツ	8*****
4	ソウム	9
5		10
(登録内容)		
0123456789/1234		
TV電話1 (2B, 画像優先)		
↓ 次頁 登録/削除 グループ名 登録終了		

A B C D E

5

グループ名 (D) を押します。
次に、カーソルで文字を選択し、**設定** (E) を押します。
名前は8文字まで入力できます。

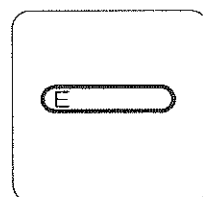


[グループ名登録]	
グループ名を登録してください。	
ヨサンカイギ__	
アカサカナハマヤラワガザダババァAFKPUZ	
イキシチニヒキリヲギジチビビュBGLQV.	
ウクスツヌフムユルングズツブブヨCHMRW/	
エケセテネヘメエレヴゼデベベッDINSX空	
オコソトノホモヨローゴゾドボボォEJOTY終	
← → ↓ ↑ 設定	

A B C D E

6

「終」の文字をカーソルで選択します。
設定 (E) を押します。



[多地点通信グループ]	
1	システムカイギ
2	ティレイカイギ
3	ギジュツカイギ
4	ウンエイカイギ
5	*****
6	キカクカイギ
7	ヨサンカイギ
8	
↓ ↑ 識別番号 メンバ登録 会議状態	

A B C D E

多地点通信グループには、1グループあたり4メンバまで登録できます。

登録を取り消すときは

もう一度、**登録/削除** (C) を押します。

グループ名の登録を行わないときは

登録終了 (E) を押すとグループ名を登録しないで登録されます。

STOP お願い

会議の開始 (4-10ページ) のとき、ここでメンバを登録した順番に回線を接続します。

名前を間違えたときは

訂正 を押すと、直前に入力した1文字を入力最終桁から取り消します。

消去 を押すと、入力した名前全部を取り消します。

8文字入力したときは

8文字目を選択し、**設定** (E) を押すと、グループに自動的に設定されます。

メンバ、グループの登録が終わるときは

待機画面に戻るまで **機能** を押します。

ご注意

メンバ登録操作中に **機能** を押すと、登録を行わないで終了します。

グループ登録操作中に **機能** を押すと、メンバのみ登録されます。

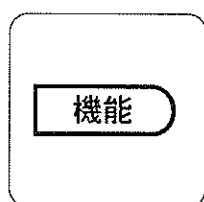
多地点テレビ会議の準備

会議状態の設定

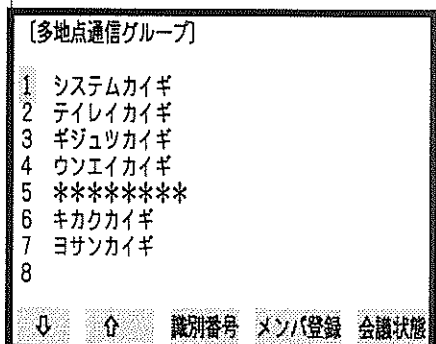
※会議状態の設定は、ホスト端末で行います。

1

① **機能** を押します。

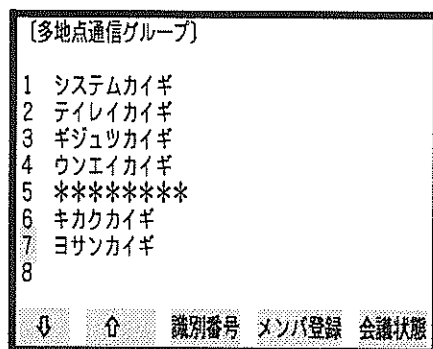
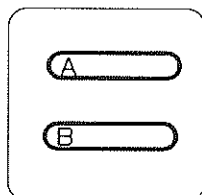


② **多地点** (D) を押します。

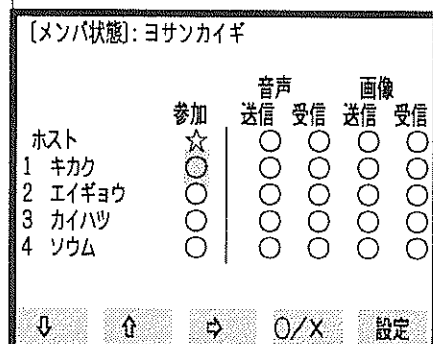


2

① **下** (A) および **上** (B) を押して、多地点テレビ会議をしたいグループの番号に、カーソルを合わせます。

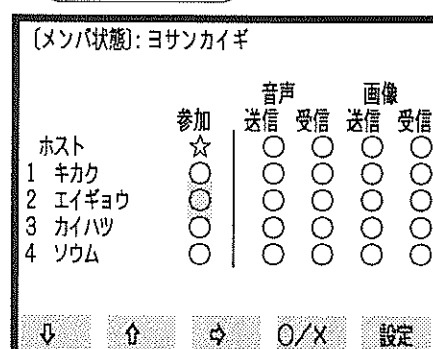
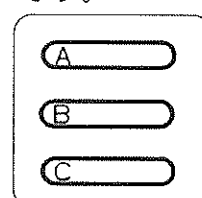


② **会議状態** (E) を押します。

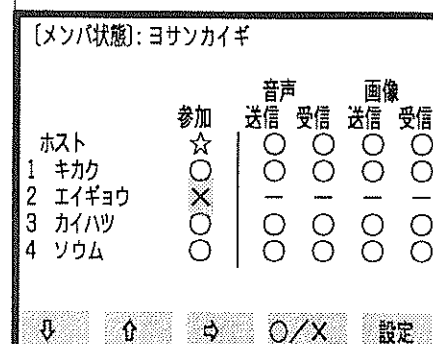


3

① **下** (A)、**上** (B) および **中** (C) を押して、カーソルを会議状態の変更したい項目に合わせます。

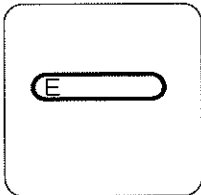


② **O/X** (D) を押して、会議状態を変更します。1回押すごとに、O→X→Oと変わります。(右ページ参照)



4

設定 (E) を押します。



[多地点通信グループ]

- 1 システムカイギ
- 2 テイレイカイギ
- 3 キジュツカイギ
- 4 ウンエイカイギ
- 5 *****
- 6 キカクカイギ
- 7 ヨサンカイギ
- 8

↓ 介 識別番号 メンバ登録 会議状態

会議状態の設定を終わるときは

機能 を押します。さらに **機能** を2回押すと、待機画面に戻ります。

会議状態の各項目について

多地点通信グループの各メンバごとに、次の項目を設定します。

● 参加

多地点テレビ会議のとき、回線を接続するかどうかを設定します。

☐	回線を接続する。多地点テレビ会議に参加させる。
☐	回線を接続しない。多地点テレビ会議に参加させない。

● 音声送信

該当するメンバの音声を、他のメンバに聞かせるかどうかを設定します。

☐	音声を他のメンバに聞かせる。
☐	音声を他のメンバに聞かせない (音声送信ミュート状態)。

● 音声受信

該当するメンバが、他のメンバの音声を聞くことができるかどうかを設定します。

☐	他のメンバの音声を聞くことができる。
☐	他のメンバの音声を聞くことができない (音声受信ミュート状態)。

● 画像送信

該当するメンバの画像を、他のメンバに見せるかどうかを設定します。

"○"を設定した端末が2つ以上あるときは、会議開始後4分割画面表示になります。"○"が1つのときは、該当する端末の画像を、すべてのメンバ端末に表示します。

すべての端末が"×"のときは、ブルーの画像をすべての端末に表示します。

☐	画像を他のメンバに見せる。
☐	画像を他のメンバに見せない (画像送信ミュート状態)。

● 画像受信

該当するメンバが、他のメンバの画像を見ることができるかどうかを設定します。

☐	他のメンバの画像を見ることができる。
☐	他のメンバの画像を見ることができない。 (画像受信ミュート状態 ブルーの画像が表示される)

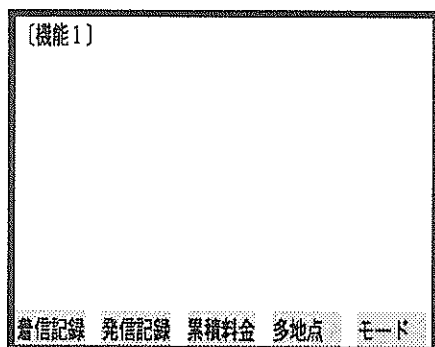
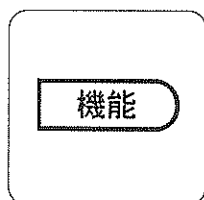
多地点テレビ会議を始めるとき

会議の開始

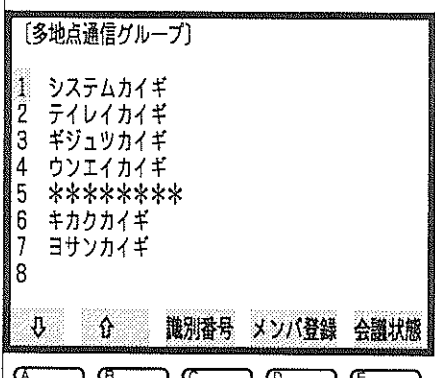
※ 会議の開始は、ホスト端末が操作します。回線の接続は自動的に行われるため、メンバ端末での操作は特に必要ありません。

1

① **機能** を押します。

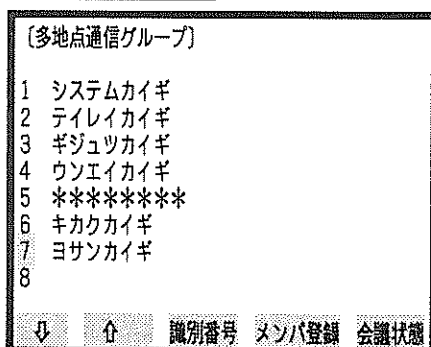
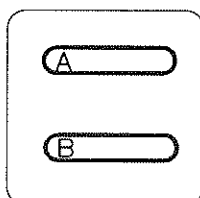


② **多地点** (D) を押します。



2

⇓ (A) または ⇓ (B) を押して、カーソルを多地点テレビ会議をしたいグループに合わせます。

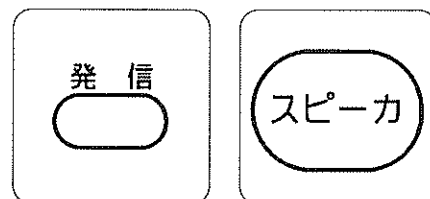


●メンバ端末の接続状態表示

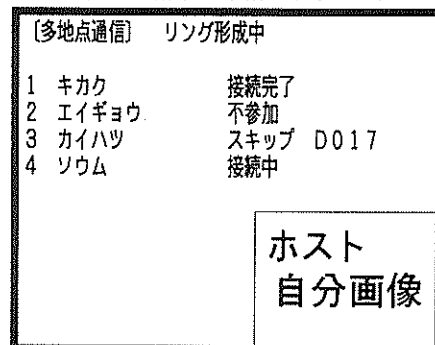
未接続	これから、接続の処理をするメンバです。
不参加	会議状態の設定で、“不参加”に設定されていたメンバです。
接続完了	接続を完了したメンバです。
スキップ	接続できなかったメンバです。

3

発信 (または **スピーカ**) を押します。

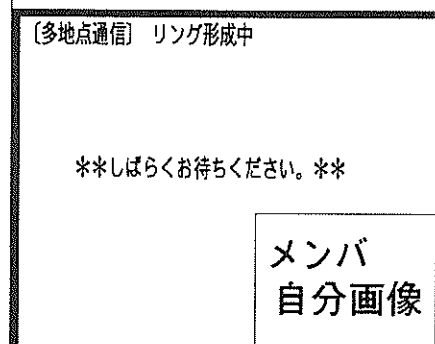


リング形成中 : 自動接続の処理中です。
音声・画像準備中 : 準備処理中です。



●メンバ端末の接続状態表示は、左の表によります。

メンバ端末の画面



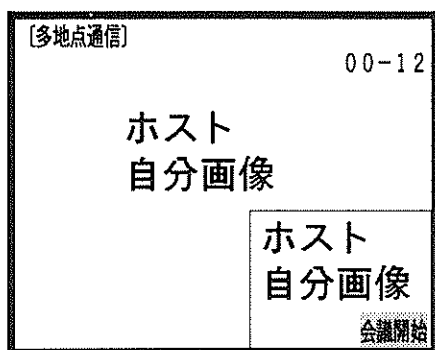
●メンバ端末では着信があると、自動着信状態で上の画面が表示されます。(呼出音は出ません。このとき保留音が鳴ります。)
リング形成中 : 自動接続の処理中です。
音声・画像準備 : 準備処理中です。

(次のページへつづく)

4

- メンバの接続が完了すると、ホスト端末の親画面にホスト自身の画像が出ます。
(親画面に出るホストの自分画像は、相手に送る画像のための「正像」で、子画面に出るホストの自分画像は、自分で見るための「鏡像」です。)

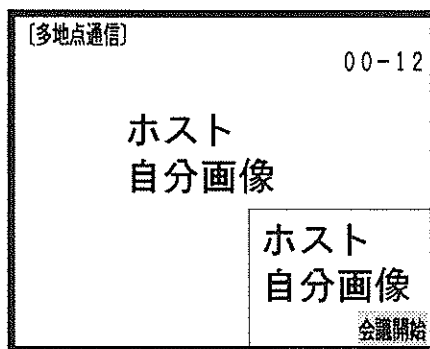
ホスト端末の画面



5

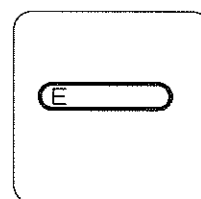
画面の右下に会議開始の表示が出たら、ハンドセットを上げてメンバ全員にハンドセットを上げるように指示します。
(ホストから会議参加者への一斉放送になります。)

ホスト端末の画面

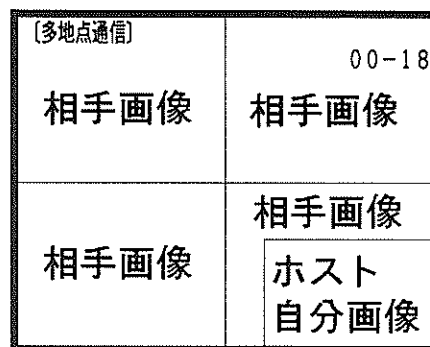


6

会議開始 (E) を押します。

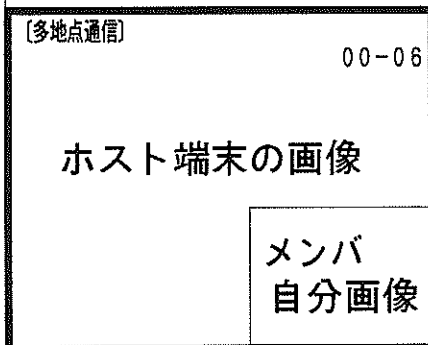


ホスト端末の画面



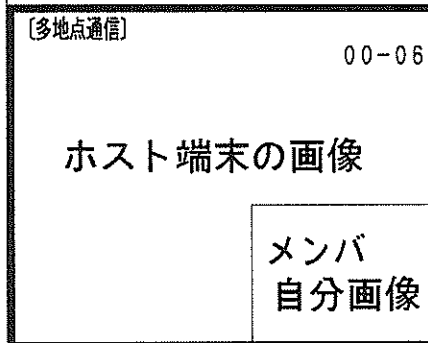
- 4分割画面にホスト端末と他のメンバ端末が次々に表示されます。
(4分割画面のどの画面に誰が出るかの定位置はありません。端末ごとに位置は異なります。)

メンバ端末の画面



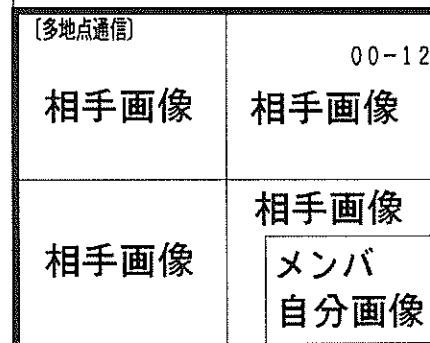
- メンバ端末では、ホスト端末の画像が映ります。
ホスト端末の音声も聞こえます。

メンバ端末の画面



- メンバ端末は、ホストのアナウンスを聞いてハンドセットを上げますが、ホスト端末が会議開始を押すまでは、メンバからの音声や画像は送られません。

メンバ端末の画面



7

- ホスト端末の司会によって多地点テレビ会議を進めます。

ホスト端末の画面

[多地点通信]	
相手画像	00-18 相手画像
相手画像	相手画像
	ホスト 自分画像

- 1画面表示のときもあります。
ホスト端末での操作によって4分割画面表示と1画面表示が切り替えられます。(4-14ページ)

メンバ端末の画面

[多地点通信]	
相手画像	00-12 相手画像
相手画像	相手画像
	メンバ 自分画像

- 1画面表示のときもあります。
ホスト端末での操作によって4分割画面表示と1画面表示が切り替えられます。(ホスト端末のみの制御)

- ホスト端末では、必要に応じて画面の切り替えができます。

画面を切り替えるときは

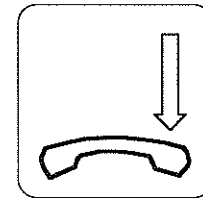
- [機能] を押します。
その後、目的に応じていずれかのボタンを押します。
- [自/相手] (A) 3-8ページ
[PinP] (B) 3-9ページ
[静/動] (C) 3-10、4-14ページ
1画面表示のときは高精細静止画となります。4分割画面表示のときは、通常の静止画送信となります。このとき元の動画送信に戻すときには[静/動]を押します。
[鏡/正] (D) 3-11ページ

画面の切り替えを終わるときは

- [機能] を押します。

8

- 多地点テレビ会議が終わるときは、ハンドセットを戻します。



[多地点通信]	
切断: 0123456789/1234	03-16 20円
切断: 0987654321/1234	

メンバ端末の画面

[多地点通信]	
切断: 0123456789/1234	03-10 20円
切断: 0987654321/1234	

- メンバ端末でも、ハンドセットを戻します。スピーカランプが点灯しているときは、ボタンを押して消します。ただし、メンバ端末から会議全体を終わらせることはできません。

多地点テレビ会議中に 会議状態を変更するとき

会議状態の変更

※ ホスト端末でのみ操作できます。

1

① **機能** を押します。

機能

2

① **↓** (A)、**↑** (B) および **→** (C) を押して、カーソルを会議状態を変更したい項目に合わせます。(4-9ページ参照)

A
B
C

3

設定 (E) を押します。

E

しばらくすると、「ミュート状態変更完了」と表示されます。

[多地点通信]		03-16	
相手画像		相手画像	
相手画像		相手画像	
相手画像		ホスト 自分画像	
自/相手	P/nP	静/動	鏡/正 会議状態

A B C D E

② **会議状態** (E) を押します。

[メンバ状態]: ヨサンカイギ			
	音声	画像	
	送信	受信	送信
ホスト	○	○	○
1 キカク	○	○	○
2 エイギョウ	—	—	—
3 カイハツ	○	○	○
4 ソウム	○	○	○
↓	↑	→	0/X 設定

A B C D E

[メンバ状態]: ヨサンカイギ			
	音声	画像	
	送信	受信	送信
ホスト	○	○	○
1 キカク	○	○	○
2 エイギョウ	—	—	—
3 カイハツ	○	○	○
4 ソウム	○	○	○
↓	↑	→	0/X 設定

A B C D E

② **0/X** (D) を押して、会議状態を変更します。1回押すごとに○→×→○と変わります。

[メンバ状態]: ヨサンカイギ			
	音声	画像	
	送信	受信	送信
ホスト	○	○	○
1 キカク	○	○	×
2 エイギョウ	—	—	—
3 カイハツ	○	○	×
4 ソウム	○	○	×
↓	↑	→	0/X 設定

A B C D E

変更を取り消すときは

もう一度 **0/X** (D) を押します。

[メンバ状態] ミュート状態変更完了			
	音声	画像	
	送信	受信	送信
ホスト	○	○	○
1 キカク	○	○	×
2 エイギョウ	—	—	—
3 カイハツ	○	○	×
4 ソウム	○	○	×
↓	↑	→	0/X 設定

会議状態の変更が終わるときは

機能 を2回押します。

ご注意

- ミュート状態の変更には、数十秒かかることがあります。
- 会議状態の変更操作において、**設定** を押す前に **機能** を押すと、変更を行わないで終了します。
- 会議状態の変更において、画面切替(4-14ページ、画像の送信権の変更を含む)と、画像受信ミュート(4-9ページ)を一度に変更しないでください。一度に変更すると、画像受信ミュートされた端末において、一瞬画像が見えることがあります。

1 画面表示と 4 分割画面表示を切り替えるとき

画面切替

※ ホスト端末でのみ操作できます。

4 分割画面表示にするときは

[メンバ状態] ミュート状態変更完了

	音声		画像	
	送信	受信	送信	受信
ホスト	☐	☐	☐	☐
1 キカク	☐	☐	☐	☐
2 エイギョウ	☐	☐	☐	☐
3 カイハツ	☐	☐	☐	☐
4 ソウム	☐	☐	☐	☐

↓ ↑ ⇄ 〇/X 設定

会議状態の変更（4-13ページ）において、[メンバ状態]の画像送信の“〇”を、2つ以上設定します。

[多地点通信]

00-18

相手画像	相手画像
相手画像	相手画像 ホスト/メンバ 自分画像

- 画像送信を“X”に設定した端末の画像は、ブルーで表示されます。
- ホストとメンバが1端末ずつのときは、1画面で表示されます。
- 高精細静止画（3-10ページ）を送る操作をしても、通常の静止画になります。

1 分割画面表示にするときは

[メンバ状態] ミュート状態変更完了

	音声		画像	
	送信	受信	送信	受信
ホスト	☐	☐	☐	☐
1 キカク	☐	☐	☒	☐
2 エイギョウ	☐	☐	☒	☐
3 カイハツ	☐	☐	☒	☐
4 ソウム	☐	☐	☒	☐

↓ ↑ ⇄ 〇/X 設定

会議状態の変更（4-13ページ）において、[メンバ状態]の画像送信の“〇”を1つのみ設定します。

“〇”を設定した端末の画像を、テレビ会議に参加しているすべての端末に見せます。

“〇”を設定した端末を変更することにより、画像を送信することができる（画像の送信権を持つ）端末を変更できます。

[多地点通信]

00-12

画像送信に“〇”を設定した端末の画像

ホスト/メンバ
自分画像

- 高精細静止画（3-10ページ）は、画像送信を“〇”に設定した端末（画像ランプが点灯している端末）からのみ送ることができます。

1

2

3

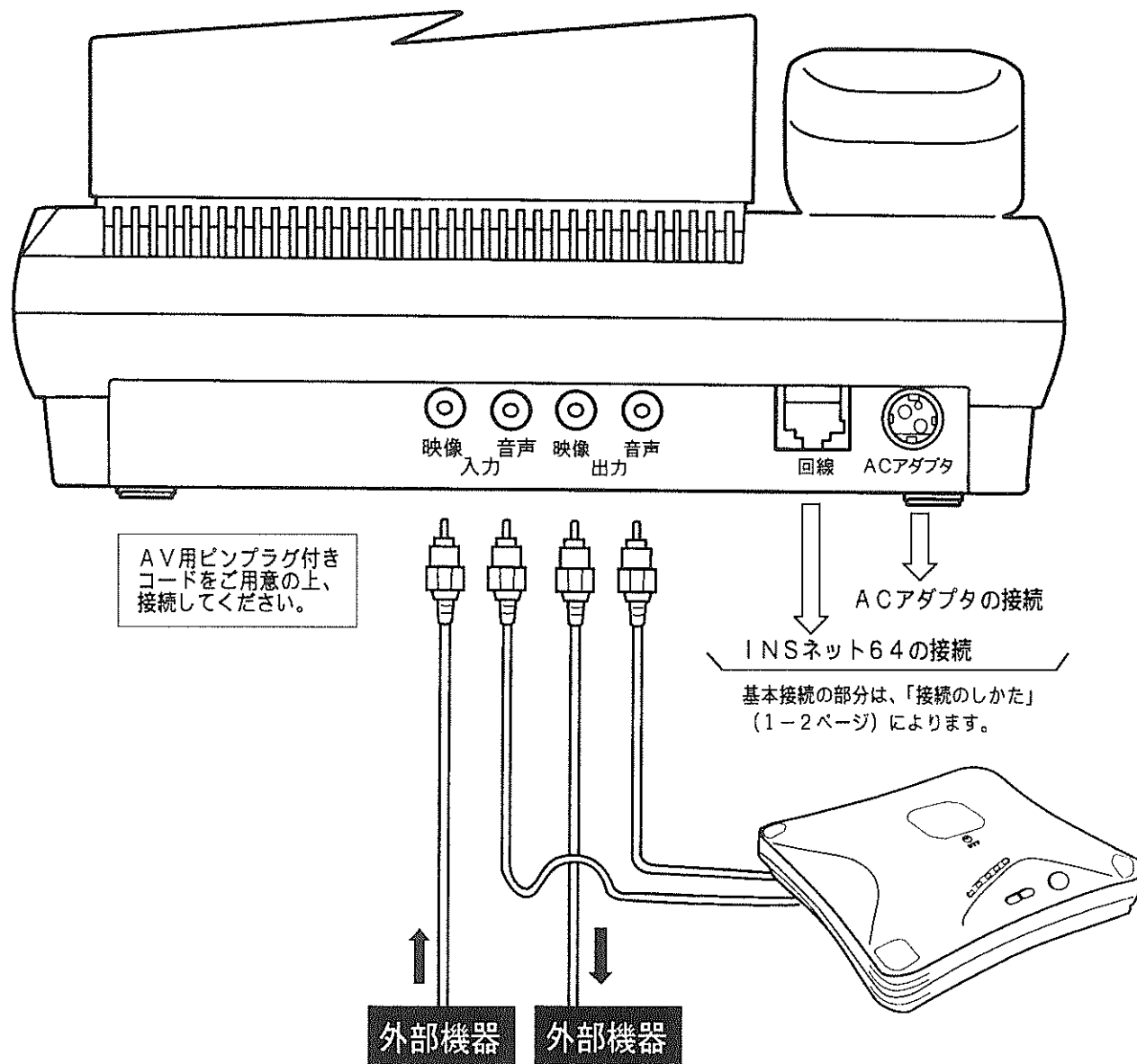
4

5

第5章

外部機器の接続と条件	5-2
トラブル対策	5-4
お手入れのしかた	5-8
索引	5-9
保証・アフターサービス	5-11
仕様	5-12

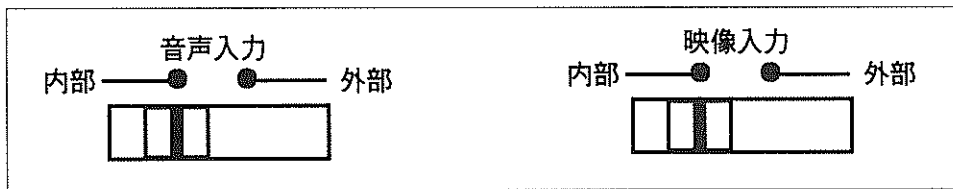
外部機器の接続と条件



PICSEND-R の端子名	接続機器の例	インタフェース仕様	備 考
映像入力端子	ビデオカメラ 書画装置 ビデオデッキ	NTSCコンポジット信号 1V _{p-p} /75Ω	ビデオテープ送信にはタイムベースコレクタ(TBC)機能が必要です
映像出力端子	モニタ テレビ	NTSCコンポジット信号 1V _{p-p} /75Ω	テレビでは外部入力端子が必要です
音声入力端子	EC-10 ビデオカメラ ビデオデッキ	入力電圧平均316mVrms 入力インピーダンス47kΩ以上	EC-10を接続するときは、EC-10の平衡/不平衡切替スイッチを「不平衡」に設定してください。
音声出力端子	EC-10 アンプとスピーカ	出力電圧平均316mVrms 出力インピーダンス2kΩ以下	

スイッチの設定

- 映像入力切替スイッチ、音声入力切替スイッチについて、外部入力に切り替えます。
- スwitchの切り替え設定は、未使用でも、使用中でも、いつでも操作できます。



音声入力

内部	ハンドセットの音声を送る。
外部	外部機器からの音声を送る。

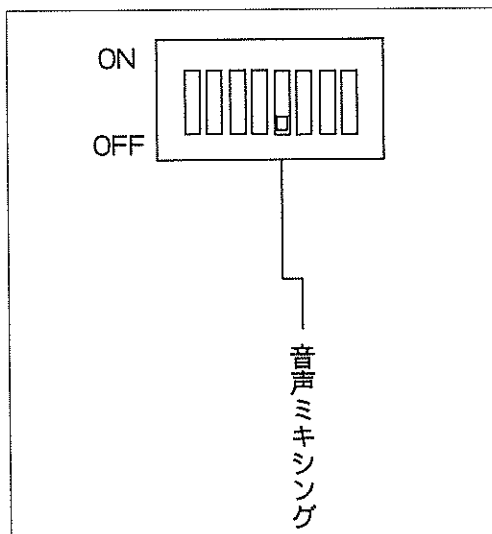
映像入力

内部	本装置の内蔵カメラの映像を送る。
外部	外部機器からの映像を送る。

- ※ ハンドセットを上げているときはハンドセットの音声を送ります。
- ※ 音声電話中は、音声入力を「外部」に設定しても、ハンドセットの音声を送ります。

ディップスイッチの設定

- 音声信号の取り扱い：音声ミキシングについて設定します。
- ディップスイッチ（底面）で設定します。

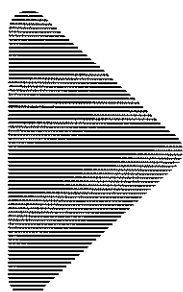


音声ミキシング

ON	相手から受けた音声と、自分の音声を同時に出力する。
OFF	相手から受けた音声のみ出力する。

STOP お願い

- EC-10を接続するときは、音声ミキシングを「OFF」に設定してください。



トラブル対策

故障かな・・・と思ったら次のことをお調べください。

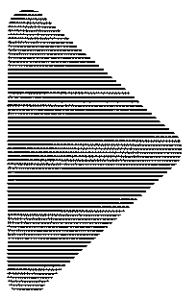
また、この取扱説明書をもう一度お読みになり操作に誤りがないかお確かめください。

それでも不具合が生じるときは、113番（故障受付）にご連絡ください。

故障かな・・・	トラブル原因	対 策	参照ページ
電源ランプが点灯しない	電源コードが抜けていませんか？	電源プラグをTV電話機本体のACアダプタのコネクタへ確実に差し込んでください	1-2
	ACアダプタのプラグが抜けていませんか？	ACアダプタの電源コードのプラグをACアダプタ本体と電源コンセントへ確実に差し込んでください	1-2
	上記以外	しばらく（10分くらい）電源コードのプラグを電源コンセントから抜いた後、再度差し込んでください	1-2
モニタが表示されない	明るさ調整ボリュームの調整が誤っていませんか？	正しく設定してください	1-11
発信音（ツーという連続音）が聞こえない	TV電話機の電話機コードが抜けていませんか？	電話機コードのプラグをTV電話機本体の1SDN回線用ジャックへ確実に差し込んでください	1-2
		電話機コードのプラグを1SDN回線側のモジュラジャックへ確実に差し込んでください	1-2
発信できない	同じ回線上のほかの機器が使用中ではありませんか？	ほかの機器の通信が終わってから、おかけ直してください	—
	相手が電話中ではないですか？	しばらく待ってからおかけ直してください	—
着信できない	着信拒否の設定がされていませんか？	電話帳に登録されている相手以外からの着信はできません 相手の電話番号を電話帳に登録するか、または着信拒否の設定をOFFしてください	1-8 3-5
	自アドレス/自サブアドレスの登録内容と、相手の指定しているアドレス/サブアドレスが食い違っていませんか？	登録されている自アドレス/自サブアドレスを訂正するか、または消去してください	1-6
	同じ回線上のほかの機器が使用中ではありませんか？	ほかの機器の通信が終わってから、相手がかけてくるのを待ってください	—

(次のページへつづく)

故障かな・・・	トラブル原因	対 策	参照ページ
相手に音声が届かない	ハンドセットのプラグが抜けていませんか？	ハンドセットのプラグを確実に差し込んでください	1-2
	音声ランプが点滅していませんか？	音声ミュートになっています 音声ボタンを押して音声ミュート解除してください	3-6
	音声入力切替スイッチの設定が誤っていませんか？	音声入力切替スイッチを正しく設定してください	0-18 5-3
	音声ランプが消灯していませんか？ (TV電話のとき、通信モードの設定で 音声が入力になっていませんか？)	一度電話を切ってください 通信モードの設定で音声をADPCMかPCM にした後、おかけ直してください	3-22
	TV電話自動着信で、画像のみ送るように 設定されていませんか？	「TV電話着信メロディ」スイッチを変更する か、「着信音量切替スイッチ」を「小」か「大」 に変更してください	3-19
相手に画像が届かない	画像ランプが点滅していませんか？	画像ミュートになっています。画像ボタンを押 して画像ミュートを解除してください	3-7
		ディップスイッチの「自動送信ミュート」 が「ON」になっています OFFにしてください	2-11
	映像入力切替スイッチの設定が誤って いませんか？	映像入力切替スイッチを正しく設定してくだ さい	0-18 5-3
	画像ランプが消灯していませんか？ (TV電話のとき、通信モードの設定で 画像が入力になっていませんか？)	通信モードの変更で画像を「動き重視」にし てください（通話中に設定できます）	3-12
回線がつながった直後、ブツ ブツという音がする	通信開始時のデジタル処理によるもので異常ではありません。		—
相手に送る画像の動きが 非常に遅い 画面が青色になりモザイク模 様がでる	ほかの機器が同じ回線を使って いませんか？	そのままお話しするか、ほかの機器が使用し ていないときにもう一度おかけ直してください	—
	通信モードの設定でチャンネルを1Bに して電話をかけていませんか？	そのままお話しするか、通信モードの変更で チャンネルを2Bに変更してください (電話をかけた方から変更できます)	3-12
外部機器の音声は相手に 届かない	音声電話中ではないですか？	外部機器の音声はTV電話のときにのみ相手に 送ることができます	5-3
	音声入力切替スイッチの設定が誤って いませんか？	音声入力切替スイッチを正しく設定してくだ さい	0-18 5-3
	外部機器の接続が誤っていませんか？	正しく接続し直してください	5-2
外部機器の画像は相手に 届かない	映像入力切替スイッチの設定が誤って いませんか？	映像入力切替スイッチを正しく設定してくだ さい	0-18 5-3
	外部機器の接続が誤っていませんか？	正しく接続し直してください	5-2



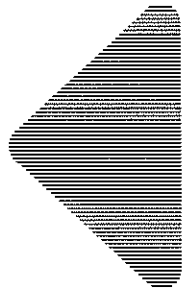
トラブル対策

(次のページへつづく)

故障かな・・・	トラブル原因	対 策	参照ページ
スピーカから音がでない	スピーカ音量が最小になっていませんか？	スピーカ音量を調整してください	0-18
	スピーカランプが消灯していませんか？	スピーカボタンを押してください	0-16
	音声入力切替スイッチの設定が誤っていませんか？	音声入力切替スイッチを正しく設定してください	0-18 5-3
「ピー」という音がスピーカからでる	スピーカの音量が大き過ぎませんか？	ハウリングが発生しています スピーカの音量を小さく調整してください それでもハウリングが止まらないときは、ハンドセットでお話してください	0-18
電話帳や自アドレス/自サブアドレスの内容が消えてしまった	長時間電源を切ったままにいませんか？	もう一度登録してください	1-6 1-8
多地点テレビ会議のとき、4分割画面が乱れる/動きが止まる	電話回線上のノイズにより、画像情報のやりとりでエラーが発生したようです	一度、1画面表示にし、もう一度4分割画面表示に戻してください	4-14

●停電になったとき

停電になったらすべての動作が停止され、相手と通信ができなくなります
停電が回復したあと、再度相手へダイヤルしてください

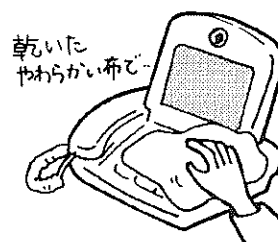


故障かな・・・		トラブル原因	対 策	参照ページ
多地点テレビ会議のとき、画像受信ミュートされた端末において、一瞬画像が見える		会議状態の変更において、画面切替の設定変更と、画像受信ミュートの設定変更を一度に操作しませんでしたか？	画像受信ミュートの設定変更のあと、画面切替の設定変更を行ってください。	4-9 4-14
画面に「DXXX」のメッセージがでる	D000	本装置の電話機コードが抜けていませんか？	電話機コードのプラグをTV電話機本体のISDN回線用ジャックへ確実に差し込んでください 電話機コードのプラグをISDN回線側のモジュラジャックへ確実に差し込んでください	1-2 1-2
	D001	電話番号を間違えていませんか？	番号を確認しておかけ直してください	—
	D003	電話番号を間違えていませんか？	番号を確認しておかけ直してください	—
	D017	相手が電話中ではないですか？	しばらく待ってからおかけ直してください	—
	D018	相手の電話にだれも出ません	しばらく待ってからおかけ直してください	—
	D021	識別番号が不一致です (多地点テレビ会議のとき)	多地点グループの各メンバーの識別番号を確認してください	4-5
		ディップスイッチの設定が多地点になっていません (多地点テレビ会議のとき)	通信相手にお問い合わせください	—
		相手が登録している自アドレス/自サブアドレスの番号と、電話をかけたときの番号が食い違っていませんか？	通信相手にお問い合わせください	—
	D028	電話番号を間違えていませんか？	番号を確認しておかけ直してください	—
	D034	同一回線上のほかの機器が使用中ではないですか？	ほかの機器の通信が終わってからおかけ直してください	—
	D038	交換機が故障中です	しばらく待ってからおかけ直してください	—
	D041	交換機が込みあっています	再度おかけ直してください	—
	D042	交換機が故障中です	しばらく待ってからおかけ直してください	—
	D088	相手にテレビ電話が接続されていますか？	通信相手にお問い合わせください	—
	その他	—	113番へお問い合わせください	—
画面下部に「通信エラーがあります」のメッセージがでる		まれに発生する一時的なエラーです	たびたび発生するときは、113番へお問い合わせください	—
多地点テレビ会議のとき、画面に「MXXX」のメッセージがでる	M001	ほかの機器が同じ回線を使っていませんか？	ほかの機器の通信が終わってから、おかけ直してください	—
	M002	相手の電話機がP ICSEND-R、P ICSEND-Cのどちらでもありません。	相手のTV電話機を確認してください	—
	M003			

お手入れのしかた

お手入れのしかた

- 乾いたやわらかい布でふきとってください。汚れのひどいときは、水で薄めた洗剤にひたした布をよくしぼってふきとり、その後 乾いた布でふいてください。



STOP お願い

- ベンジン、シンナー、アルコールなど、揮発性のものは使用しないでください。
洗剤やスプレーなどを直接かけないでください。
変色、変形、変質 や故障の原因になります。



⚠ 警告:

- 装置のカバーは外さないでください
感電や故障の原因になります。
内部の点検、調整、清掃、修理は当社のサービス取扱所にご依頼ください。
- 装置の分解、改造はしないでください
火災・感電の原因になります。
- 必ずプラグを持って抜いてください
電源コードのプラグを抜くときは、コードを引っ張ったりしないで、必ずプラグをもって抜いてください。コードを引っ張るとコードを傷め、火災・感電の原因となります。
- 濡れた手でプラグを抜き差ししないでください
濡れた手でプラグの抜き差しは感電の原因となり危険です。

⚠ 注意:

- お手入れの際はプラグを抜いてください
お手入れや移動の際は、安全のため電源プラグや接続されているコード類を抜いてください。

索引

(次のページへつづく)

数字

1画面表示	4-2、4-14
2つのダイヤル入力	1-12
4分割画面表示	4-2、4-14

あーア

アイリス調整ボリューム	0-18、1-11
明るさ調整ボリューム	0-18、1-11
アフターサービス	5-11
安全上の警告情報	0-1~0-7
異常時の対処のしかた	0-2
受ける	2-10
映像出力端子	0-18、5-2
映像入力切替スイッチ	0-18、5-3
映像入力端子	0-18、5-2
お手入れ	5-8
親画面	0-13
音声出力端子	0-18、5-2
音声電話でかける	2-4
音声入力切替スイッチ	0-18、5-3
音声入力端子	0-18、5-2
音声ボタン・ランプ	0-16
音声ミキシング	1-4、5-3
音声ミュート	3-6
オンフックダイヤル	2-6
ACアダプタ	0-14、1-2
ACアダプタ接続端子	0-18
INSネット64	0-7、5-2、5-12
ISDN回線用ジャック	0-18

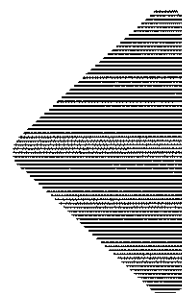
かーカ

海外の相手と通信する	1-12
会議状態の設定	4-8
会議状態の変更	4-13
会議の開始	4-10
回線ランプ	0-16
外部機器の接続	5-2
各部のなまえとはたらき	0-16
かける	2-2
画像受信ミュート	4-9
画像の送信権	4-14
画像ボタン・ランプ	0-16

画像ミュート	3-7
カメラ	0-16
画面切替	4-14
画面の調整	1-10
機能ボタン	0-16
逆光補正切替スイッチ	0-18、1-11
鏡/正	3-11
グループ	4-2、4-6
高精細静止画	3-10
子画面	0-13、3-9
呼毎通知許可	0-7、3-20、4-2

さーサ

再ダイヤル	2-9
再ダイヤルボタン	0-16
サブアドレスボタン	0-16
自/相手	3-8
自アドレス、自サブアドレス	1-6
色調調整ボリューム	0-18、1-11
識別着信	3-4
識別番号	4-5
自動送信ミュート	2-11
受話音量切替スイッチ	0-18
仕様	5-12
消去ボタン	0-16
スピーカ	0-16
スピーカ音量調整ボリューム	0-18
スピーカボタン・ランプ	0-16
静/動	3-10
接続機器の条件	5-2
接続のしかた	1-2
セットの確認	0-14
全消去	3-15
操作面	0-16
側面	0-18



たーた

待機画面	0-15
ダイヤルボタン	0-16
多地点テレビ会議	4-2
着信音	3-16、3-17
着信音量切替スイッチ	0-18、3-19
着信拒否	3-5
着信記録	3-25
着信ランプ	0-16
通話時間表示設定	3-18
通信モードの設定	3-22
通信モードの変更	3-12
ディップスイッチの設定	1-4
訂正ボタン	0-16
停電	5-6
底面	1-4
電源ランプ	0-16
電話機コード	0-14、1-2
電話着信音色切替スイッチ	0-18、3-16、3-17
電話帳ダイヤル	3-3
電話帳登録	1-8
電話帳ボタン	0-16
電話を受ける	2-10
電話をかける	2-2、2-4
特長	0-12
トラブル対策	5-4
取り扱いについて (はじめに)	0-1
TV電話自動着信	3-19
TV電話着信メロディ	3-16、3-17
TV電話でかける	2-2

なーな

日時設定	1-5
濃淡調整ボリューム	0-18、1-11

はーハ

背面	0-18
発信記録	3-24
発信者番号通知なしダイヤル	3-20
発信ボタン	0-16
ハンドセット	0-16
ファンクションボタン	0-15、0-16

普通のダイヤル	2-2
プリセットダイヤル	3-2
プリセットボタン	0-16
ベル切ランプ	0-16、3-17
保証	5-9
保証書	0-14
ホスト	4-2
保留	2-12
保留メロディ	3-16、3-17
保留ボタン・ランプ	0-16
PBダイヤル送出	3-14
PinP	3-9

まーま

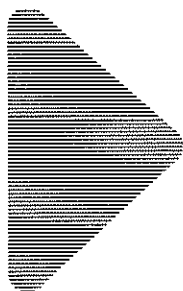
メンバ	4-2、4-6
モニタ	3-16
モニタの見方	0-15

らーら

累積料金	3-26
------	------

わーわ

ワンタッチダイヤル	2-8
ワンタッチボタン	0-16



保証・アフターサービス

● 保証について

保証期間（1年）中の故障につきましては無償で修理を致しますので、「保証書」は大切に保管してください。（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

● 保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。

● 保守サービスの種類は

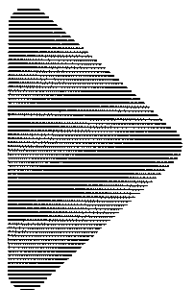
定額保守サービス	● 毎月決められた料金だけで、安心してご利用いただけます。
実費保守サービス	● 修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へおうかがいするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては、高額になる場合もありますのでご承知願います。） ● NTT窓口まで本装置をお持ちいただいた場合は、お客様宅へおうかがいするための費用は不要です。

● 故障の場合は・・・113番（故障受付）へご連絡ください。

● その他……………定額保守サービスの料金については、NTT窓口へお問い合わせください。

● 保守用部品の保有期間について

この商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低7年間保有しています。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、NTT窓口へお問い合わせください。



仕 様

項 目		仕 様
モ ニ タ		5.6インチTFTカラー液晶（バックライト付）
カ メ ラ		1/3インチCCDカメラ・25万画素
回 線	回 線 イン タ フ ェ ース	INSネット64 P-mP接続
	伝 送 速 度	56～128k bit/s
画 像	映 像 入 出 力 信 号	NTSCコンポジット信号
	符 号 化 方 式	動き補償+DCT ITU-T H.261準拠
	符 号 化 速 度	38.4、62.4、68.8、100.8、124.8k bit/s
	解 像 度	画質重視：352（水平）×288（垂直） （最大受信能力10フレーム/秒） 動き重視：176（水平）×144（垂直） （最大受信能力15フレーム/秒） 高精細静止画モード：704（水平）×480（垂直） （独自方式）
音 声	符 号 化 方 式	ITU-T G.711準拠（μ-law、A-law） 独自モード：ADPCM 24k bit/s
	符 号 化 速 度	音 声 通 話 時：64k bit/s TV電話：G.711時：56k bit/s TV電話：ADPCM時：24k bit/s
音 声 ・ 画 像 通 信 制 御		ITU-T H.221、H.230、H.242、 H.320準拠
テレビ電話通信モード		①：画像 100.8k bit/s、音声 24k bit/s ②：画像 68.8k bit/s、音声 56k bit/s ③：画像 38.4k bit/s、音声 24k bit/s など
寸 法 / 幅 × 奥 行 × 高 さ		約240×230×227mm
質 量		約2.5kg
電 源 消 費 電 力		AC100±10V、50/60Hz 約30W（ACアダプタ）
使 用 環 境 条 件		温度5℃～35℃ 湿度45%～85%（結露しないこと）

使い方などでご不明の点がございましたら、NTT窓口などへお気軽にご相談ください。



NTT
NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE
CORPORATION

日本電信電話株式会社

〒163-19 東京都新宿区西新宿3-19-2



この取扱説明書は、エコマーク認定の再生紙を使用しています。

本1313-3(95.9)

ISDNビジュアルホンPICSEND-R-トリセツ